I-O DATA

NEC PC98-NXシリーズ
DOS/Vマシン
PC-9821シリーズ　対応

ノートパソコン用PCカード電源供給対応
8倍速DVD-ROMドライブ24倍速CD-ROMドライブ＆Duo ATA PCカード

DVDP-i8TP
取扱説明書

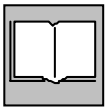
株式会社 アイ・オー・データ機器

75703-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ･オー･データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ･オー･データ機器の登録商標です。
- i･CONNECTは、株式会社アイ･オー･データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Photo CDは米国Eastman Kodak Companyの商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System、および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0
Windows	Windows 98/95,Windows 2000およびWindows NT 4.0の総称
DVD/CD-ROM	DVD-ROMまたはCD-ROM

もくじ

お読みになる前に i
もくじ ii

箱の中には 1
特徴 3
動作環境 5
ユーザー登録しよう 9
取り扱い及び使用上の注意 11
各部の名称・機能 13

Windows 98/95でご使用の場合 17

ステップ1　PCカードのモードを設定しよう 18
PCカードのモードについて 18
ACアダプタを接続せずに使用したい場合 19
使用できるモードを確認する 20
モードを変更する 22

ステップ2　インストールしよう 23

ステップ3　インストール後の確認 27
インストールしたサポートソフトを確認する 27
接続を確認する 29

ステップ4　基本操作について 31
DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合 31
PCカードをパソコンに挿入する場合 33
PCカードをパソコンから取り外す場合 33

ステップ5　それでは使ってみよう 34

補足１　OS上でPCカードを取り外す場合……３５

補足２　音楽CDを再生する場合……３９

補足３　サポートソフトを削除する場合……４３

Windows 2000でご使用の場合……４５

ステップ１　PCカードのモードを設定しよう……４６

PCカードのモードについて……４６
ACアダプタを接続せずに使用したい場合……４７
使用できるモードを確認する……４８
モードを変更する……４９

ステップ２　インストールしよう……５０

ステップ３　インストール後の確認……５６

ステップ４　基本操作について……５８

DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合……５８
PCカードをパソコンに挿入する場合……６０
PCカードをパソコンから取り外す場合……６０

ステップ５　それでは使ってみよう……６１

補足１　OS上でPCカードを取り外す場合……６２

補足２　音楽CDを再生する場合……６６

補足３　サポートソフトを削除する場合……７０

Windows NT 4.0でご使用の場合……７１

ステップ１　　インストールしよう……７２
ACアダプタを接続せずに使用したい場合……７２
インストールする……７３

ステップ２　　インストール後の確認……７７
リソースの競合を回避する(RESEDIT)……７８

ステップ３　　基本操作について……８２
DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合……８２
PCカードをパソコンに挿入する場合……８４
PCカードをパソコンから取り外す場合……８４

ステップ４　　それでは使ってみよう……８５

補足１　　サポートソフトを削除する場合……８６

付 録１　困ったときには……８７
基本的なトラブル …… ８９
Windows 98/95でのトラブル …… ９２

付 録２　CD-ROMを活用するユーティリティ……１０７
(Windows 98/95のみ)
ユーティリティのインストール …… １０８
音楽を聞いてみよう(CD Player) …… １１０
Photo CDを見てみよう(PCD View) …… １１９
CDセレクトについて …… １２１

付 録３　ACアダプタなしで本製品を
使いたい場合……１２５
Windows 98/95での設定手順 …… １２６
Windows 2000での設定手順 …… １２７
Windows NT 4.0での設定手順 …… １２８

付 録４　ハードウェア仕様……１２９

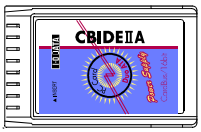
PowerDVD 2000のお問い合わせ １３２
サポートセンターへのお問い合わせ １３３
サポートソフトのバージョンアップ １３４
保証について １３５
修理について １３６

箱の中には

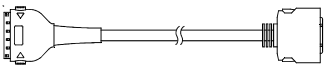
箱の中には以下のものが入っています。
☐にチェックをつけながら、ご確認ください。



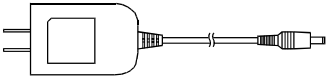
☐ DVD-ROMドライブ
[DVDP-i8TP]



☐ PCカード
[CBIDEIIA]



☐ 専用接続ケーブル



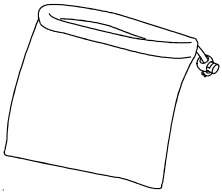
☐ ACアダプタ



☐ CBIDEIIシリーズサポートソフト



☐ DVDP-iシリーズ
ユーティリティ



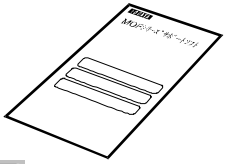
☐ ソフトキャリーケース



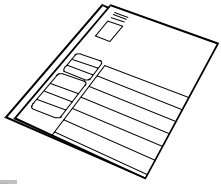
☑ DVDP-i8TP取扱説明書
（本書）



☐ **ハードウェア保証書（２枚）**



☐ **Verシール（２枚）**



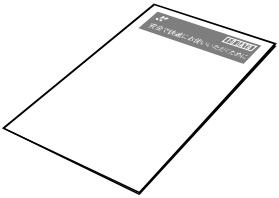
☐ **ユーザー登録カード**



☐ **ハードウェアシリアルNo.シール（２枚）**



☐ **『Windows 98/95 再セットアップガイド』**



☐ **『安全で快適にお使いいただくために』**

●サービス品

DVDビデオ再生ソフト



PowerDVD 2000（1式）

☐ CD-ROM

☐ クイックガイド

注意

ケースにCD-Keyが記述されています。インストール時に必要になりますので、大切に保管してください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

特徴

本製品の特徴について説明します。

◆CardBus対応Duo ATA PCカード「CBIDEIIA」接続だから、8倍速DVD-ROMドライブまたは24倍速CD-ROMドライブの性能を充分に発揮可能（添付のACアダプタ接続時）

高速モードでのリード時：　8倍速DVD…最大10.8MB/秒
24倍速CD…最大3.6MB/秒

◆PCカード電源供給による動作が可能。ちょっとしたインストールなどの場合は、ACアダプタを接続しなくても使用できます。(PCカードは16bitモードのみ使用可)

※ACアダプタを接続しない場合、本製品は低速モードでの使用となります。
低速モードでのリード時：　2.5倍速DVD…最大3.4MB/秒
12倍速CD……最大1.8MB/秒
※パソコン本体によっては正常に動作しない場合があります。その場合はACアダプタを接続して使用してください。

◆ノートパソコンとの持ち運びに便利な軽量薄型8倍速DVD-ROMドライブ＋24倍速CD-ROMドライブ

（外形寸法：140(W)×150(D)×20(H)mm…突起部を除く）

◆Windows NT 4.0をサポート
添付の専用ユーティリティにより、リソース競合の回避を業界で初めて実現

※Windows NT 4.0ではDVDビデオの再生は行えません。

◆低CPU占有率を実現

◆CD-RWディスクリード対応
パケットライトディスクのリードにも対応

※DirectCD Ver.2以降のランダムアクセスライト記録済みディスクは、Adaptec社の「DirectCD UDF Reader」を使用すれば読むことができます。「DirectCD UDF Reader」の詳細に関しては以下を参照してください。
（http://www.adaptec.co.jp/download/index.html）

◆デジタルオーディオ機能対応
音楽CDをノートパソコン本体から直接聞くことができます。

※対応OSはWindows 98、Windows 2000のみで、ノートパソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応している必要があります。

◆CD-ROMドライブ用高機能ユーティリティ添付(Windows 98/95専用)

※本製品には、Photo CD、音楽CDは添付しておりません。

◇CD Player

1.音楽CDの再生

お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生も可能です。

2.オーディオキャプチャ機能

音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。

3.CD TEXT対応

CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇PCD View

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

◆OSの再インストールおよびアップグレードに利用可能

CD-ROM非搭載のサブノートパソコン(VAIOノート,DynaBook SS PORTEGE, Let's Note,Mebiusノートなど)でもOSの再インストール(簡単インストール補助ソフト添付)およびOSのアップグレードが可能です。
※ただし、再セットアップ用起動フロッピーディスクが必要となります。

動作環境

本製品のモード

本製品(DVDP-i8TP)には以下のモードがあります。モードは添付のACアダプタを接続する･しないで自動的に切り替わります。
（高速モード、低速モードの切替スイッチはありません。）

高速モード	添付のACアダプタを接続する場合に設定されるモード 8倍速DVD-ROMリード(最大10.8MB/sec) 24倍速CD-ROMリード(最大3.6MB/sec)
低速モード	添付のACアダプタを接続しない場合に設定されるモード 2.5倍速DVD-ROMリード(最大3.4MB/sec) 12倍速CD-ROMリード(最大1.8MB/sec)

PCカードのモード

本製品のPCカード(CBIDEⅡA)には以下のモードがあります。PCカード側面のモードスイッチで切り替えることができます。

CardBusモード ※1	PCカード規格TypeⅡ準拠のCardBusスロット(32bit)を装備したWindows 98またはWindows 95 OSR2 ※2 (Ver4.00.950B)以降またはWindows 2000がインストールされたパソコンで使用可
16bitモード ※3	PCカード規格TypeⅡ準拠のCardBusスロット(32bit)またはPCカードスロット(16bit)を装備したパソコンで使用可

※1 ACアダプタを接続しないで使用する場合は、「16bitモード」でのみ使用可能です。

※2 OEM Service Release2の略称。

※3 16bitモードでは、DVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

対応機種

NEC PC98-NX シリーズの場合	CardBusモードで使用できます。 ただし、mobio NXシリーズでは、CardBusモードで使用できません。
DOS/Vマシンの場合	CPU Pentium75MHz以上
NEC PC-9821 シリーズ ※ の場合	《CardBusまたは16bitモードで使用できる機種》 PC-9821Nr15,Nr150,Nr166,Nr233,Nr266,Nr300,Nw133, Nw150 《16bitモードのみで使用できる機種》 PC-9821Nf,Nb7,Nb10,Na7,Na9,Na12,Na13,Na15,Nr12,Nr13, La7,La10,La13,Ls12,Ls13,Ls150

※ DVDビデオの再生は行えません。

注意

NEC PC-9821シリーズのWindows 98/95環境で「16bitモード」を使用する場合、「98NOTEメニュー」で『16Mバイトシステム空間』の設定が「使用する」になっていないと本製品の性能はフルに発揮できません。
（「98NOTEメニュー」は、[HELP]キーを押しながらパソコン本体の電源ONまたはリセットをすると起動します。詳しくはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。）

対応ＯＳ

NEC PC98-NX シリーズ	日本語Windows 98（Second Edition含む） 日本語Windows 95（OSR2以降） 日本語Windows 2000 日本語Windows NT 4.0 ※（Service Pack4以降）
DOS/Vマシン	日本語Windows 98（Second Edition含む） 日本語Windows 95（OSR2以降） 日本語Windows 2000 日本語Windows NT 4.0 ※（Service Pack4以降）
NEC PC-9821 シリーズ	日本語Windows 98（Second Edition含む） 日本語Windows 95（OSR2以降） 日本語Windows 2000 日本語Windows NT 4.0 ※（Service Pack4以降）

※　WindowsNT4.0では、本製品のPCカードは「16bitモード」動作のみとなります。（DVDビデオの再生は行えません。）

対応しているディスク

DVD-ROM、DVDビデオ ※1 、ビデオCD ※1 、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-DA(音楽CD)、Photo CD ※2 、CD TEXT ※2 、CD Extra、CD-I

※1 添付の「PowerDVD 2000」をお使いください。詳しくは、添付の「PowerDVD 2000クイックガイド」をご覧ください。

※2 【CD-ROMを活用するユーティリティ】（107ページ）をご覧ください。

DVDビデオ再生環境（添付のPowerDVD 2000を使用する場合）

本製品とPowerDVD 2000で使用する場合は、以下の動作環境で使用してください。

PCカードモード ※1	CardBusモード（ACアダプタを接続してください。）
対応機種 ※2	NEC PC98-NXシリーズ、DOS/Vマシン （Windows 98/95の場合） CPU　Intel PentiumⅡ266MHz/PentiumⅢ 以上 Celeron 300(A)MHz以上 AMD K6-2 350MHz/Athlonプロセッサ 以上 （Windows 2000） ※3 CPU　Intel PentiumⅡ400MHz/PentiumⅢ 以上 Celeron433MHz以上 AMD Athlonプロセッサ 以上
対応OS ※4	Windows 98（Second Edition含む） Windows 95（OSR2以降） Windows 2000
その他	iPower!機能を使用する場合は、InternetExplorer4.0以降（InternetExplorer5.0以降推奨）が必要です。

※1：16bitモードではコマ落ちが発生しますので使用できません。
※2：NEC PC-9821シリーズには対応しておりません。
※3：Windows 98環境並のスムーズな再生を行うには、Windows 98環境に比べて、約30%ほど高いCPUパワーが必要となります。
※4：Windows NT 4.0はCardBusモードで使用できないため、DVDビデオの再生はできません。

PCカードが接続できる機器

本製品のPCカード(CBIDEⅡA)は、DVDP-i8TP専用です。
CBIDEⅡAは電源供給(Power Supply)タイプのPCカードのため、別売品および弊社ポータブルシリーズ付属の「CBIDEⅡ」「CI-iCN」とは異なります。

注意

CBIDEⅡAを他の製品（弊社製ポータブルシリーズ含む）に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

ユーザー登録しよう

弊社(DVD-ROMドライブ用)とサイバーリンク㈱ (PowerDVD 2000用)の２種類のユーザー登録を行います。

① 弊社ユーザー登録（DVD-ROMドライブ用）

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、「サポートソフト」ディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン･ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン･ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注意

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

②サイバーリンク㈱ユーザー登録（PowerDVD 2000用）

ご登録いただくと、PowerDVD新バージョンの優待ご案内、新機能や問題点の無償パッチの情報、その他お役に立つ各種情報のご案内などを随時お届けしておりますので、是非ご登録いただけます様お願いいたします。

●インターネット環境をお持ちの場合

ユーザー登録ページURL

http://www.cli.co.jp/online/

●インターネット環境をお持ちでない場合

下記の必要事項をご記入いただき、サイバーリンク㈱までFAXでお送りください。

FAX： 03-3662-8009

▼必要事項

1.記入日
2.氏名（ユーザー登録名）
3.TEL番号
4.FAX番号
5.住所
6.E-mailアドレス
7.製品名およびソフトウェアのバージョン
8.CD-Key番号（CDケースに付いている英文字2文字+14桁からなる番号をご記入下さい）
9.お使いのパソコン環境
- ･OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
- ･パソコン（CPU（例：PentiumⅢ500）およびメモリ容量）
- ･使用している周辺機器（メーカー名、製品名）
- ･DVDドライブ（アイ･オー･データ機器製、DVDP-i8TP）

注意

サイバーリンク㈱のユーザー登録で不明な点がある場合のみ以下の電話番号にお問い合わせください。

TEL：03-3662-8076

取り扱い及び使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。また、「サポートソフト」内の「README.TXT」を必ずご覧ください。

●本製品のPCカード(CBIDEⅡA)についての注意

本製品のPCカード(CBIDEⅡA)は、DVDP-i8TP専用です。
CBIDEⅡAは電源供給(Power Supply)タイプのPCカードのため、別売品および弊社ポータブルシリーズ付属の「CBIDEⅡ」「CI-iCN」とは異なります。

注意

CBIDEⅡAを他の製品（弊社製ポータブルシリーズ含む）に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

●地域コード（リージョンコード）についての注意

本製品は、日本の地域コードである２に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。
あらかじめご了承ください。

●本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意

1)本製品のPCカードを『CardBusモード』に設定した場合

･他のCardBus PCカードと同時に使用できない場合があります。
⇒ その場合は、本製品のPCカードを「16bitモード」に変更するか、本製品のPCカードと他のCardBus PCカードを同時に使用しないでください。

･16bit PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ その場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他の16bit PCカードはOS起動後に挿入してください。

2)本製品のPCカードを『16bitモード』に設定した場合

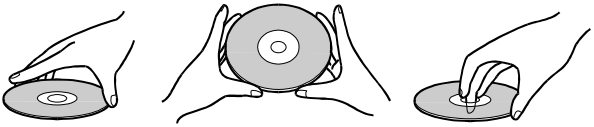
CardBus PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ その場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他のCardBus PCカードはOS起動後に挿入してください。

●DVDビデオの再生についての注意

本製品で、DVDビデオを再生する場合は、必ず付属のPCカードのモードを「CardBusモード」に設定してください。「16bitモード」に設定して、DVDビデオを再生するとコマ落ちが発生する場合があります。
（Windows NT 4.0はCardBusモードで使用できないため、DVDビデオの再生はできません。あらかじめご了承ください。）

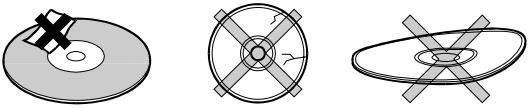
●ディスクの取り扱いについての注意

1)ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触れないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



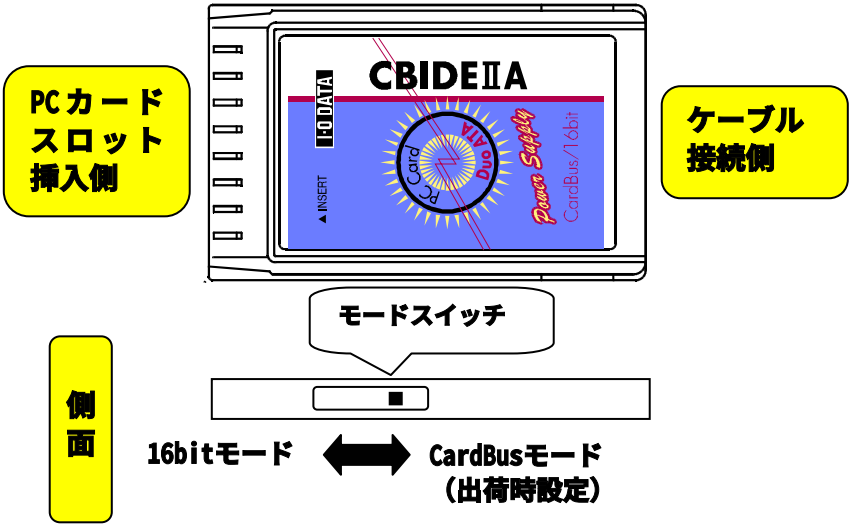
2)正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。

3)ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。
また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。

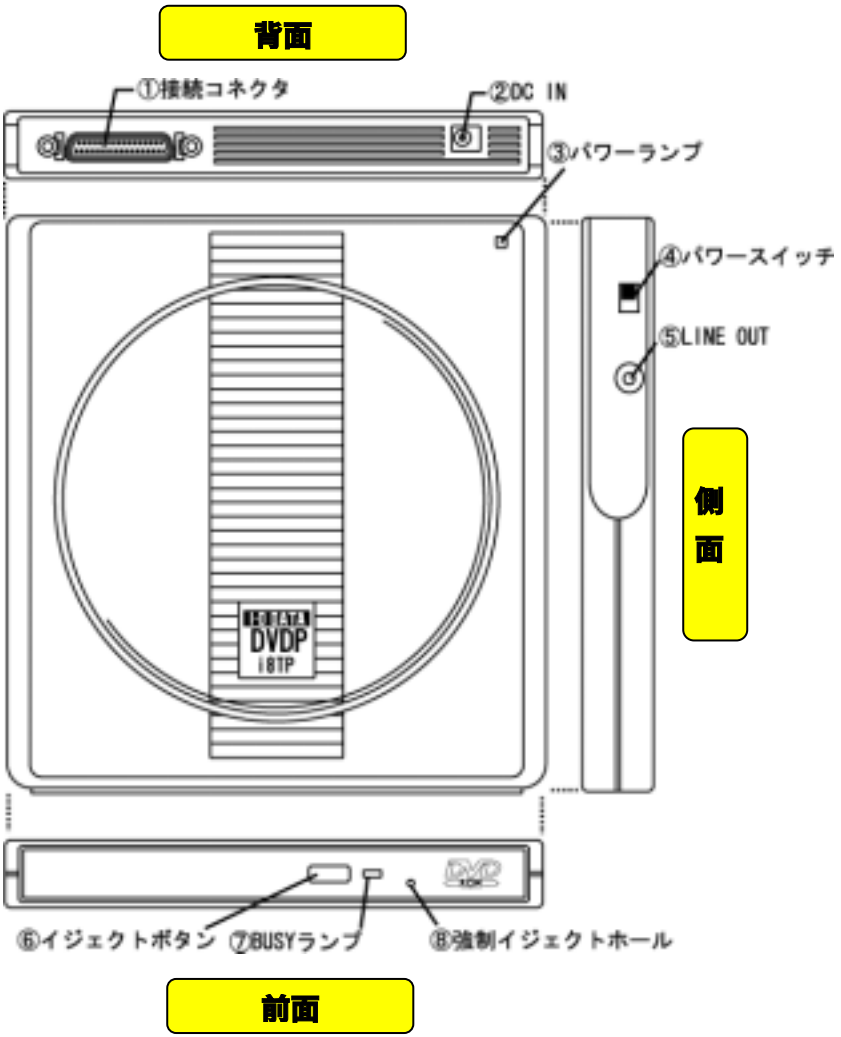


各部の名称・機能

ＰＣカード



DVD-ROMドライブ


背面
①接続コネクタ
②DC IN
③パワーランプ
④パワースイッチ
⑤LINE OUT
側面
⑥イジェクトボタン
⑦BUSYランプ
⑧強制イジェクトホール
前面

名称	説明
①接続コネクタ	添付の接続ケーブルでPCカードと接続します。
②DC IN	添付のACアダプタでAC100Vの家庭用コンセントに接続します。
③パワーランプ	本製品のパワースイッチON時、ACアダプタを接続している場合は緑色に、ACアダプタを接続していない場合は、オレンジ色に点灯します。 OFF時は消灯します。 アクセスの確認については「⑦BUSYランプ」でご確認ください。
④パワースイッチ	本製品の電源をON(左)/OFF(右)します。
⑤LINE OUT	市販のオーディオケーブルでパソコン本体のLINE INに接続するか、アンプ付きスピーカーに接続します。
⑥イジェクトボタン	トレイを出します。
⑦BUSYランプ	DVD/CD-ROMディスクにアクセス時に点滅します。
⑧強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもトレイが出てこなくなった時に使用します。（【付録１ 困ったときには】(87ページ)参照）

MEMO

Windows 98/95でご使用の場合

ここではWindows 98/95で使用する際の設定について説明します。

ステップ１

▼

ステップ２

▼

ステップ３

▼

ステップ４

▼

ステップ５

PCカードのモードを設定しよう

本製品のPCカードのモードを設定します。(18ページ)

インストールしよう

本製品を使用するために必要なソフトウェアのインストールについて説明します。(23ページ)

インストール後の確認

本製品が正常に使用できるか確認します。(27ページ)

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明します。(31ページ)

それでは使ってみよう

DVD/CD-ROMの活用方法について説明します。(34ページ)

補足１

OS上でPCカードを取り外す場合

OS起動中のPCカードの取り外す方法について説明します。(35ページ)

補足２

音楽CDを再生する場合

音楽CDを再生する場合の設定･接続方法について説明します。(39ページ)

補足３

サポートソフトを削除する場合

インストールしたサポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。(43ページ)

ステップ1

PCカードのモードを設定しよう

ここでは本製品のPCカードのモードについて説明します。
PCカードのモードを正しく設定しないと本製品が使用できません。
パソコンによっては使用できるモードが異なりますので、必ず確認した上で、設定してください。

PCカードのモードについて

本製品のPCカードにはCardBusモードと16bitモードの２つのモードがあります。
（モードの設定については次ページ以降で確認してください。）

CardBusモード ※1	バスマスタ転送方式で32bitデータ高速転送を行います。16bitモードよりも高速です。 ただし、パソコンによっては、CardBusモードに設定できない場合があります。
16bitモード ※2	UltraSMIT転送方式で16bitデータ高速転送を行います。CardBusモードよりも低速です。 CardBusモードに対応していないパソコンをお使いの場合に設定してください。

※1 本製品にACアダプタを接続しないで使用する場合は、CardBusモードでは使用できません。16bitモードでご使用ください。
（詳細は、【ACアダプタを接続せずに使用したい場合】次ページ参照）
※2 16bitモードではDVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

ACアダプタを接続せずに使用したい場合

本製品は、PCカード経由でパソコン本体から電源供給を受けることができるため、ちょっとしたインストールの場合等、添付のACアダプタを接続しない状態でも使用できます。

ただし、ACアダプタを接続しない場合は、以下の①～③の制限があります。

① 本製品は「低速モード」で動作します。
　※ 2.5倍速DVD-ROMリード(最大3.4MKB/秒)、12倍速CD-ROMリード(最大1.8MB/秒)となります。
　※ 低速モード時、パワースイッチON時のパワーランプはオレンジ色に点灯します。
② PCカードは「16bitモード」にする必要があります。
　「CardBusモード」では動作しません。
③ DVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

※ACアダプタを接続しない場合でも、本製品のパワースイッチはONにする必要があります。
※一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。

ACアダプタを接続する場合 → **次ページへお進みください。**

ACアダプタを接続しない場合 → **16bitモードに設定します。【モードを変更する】(22ページ)へお進みください。**

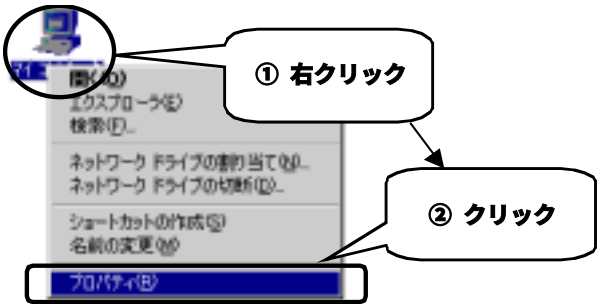
使用できるモードを確認する

本製品にACアダプタを接続して使用する場合は、まず、本製品のPCカードをどのモードで使用できるかを確認します。

確認方法

1 [システムのプロパティ]を表示させます。

［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

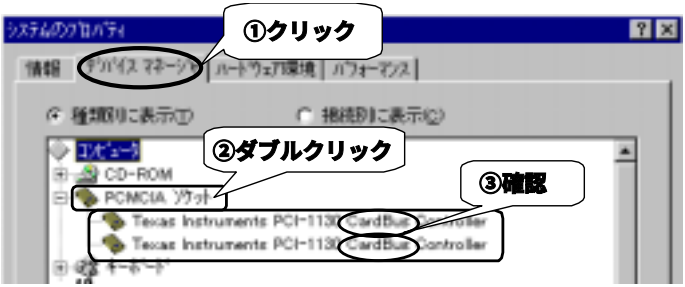


2 「CardBus」の記述を確認します。

［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［PCMCIAソケット］をダブルクリックします。

表示に「CardBus」という、記述があるかどうかを確認します。

表示例



●「CardBus」という記述がある場合

CardBusモードでの使用となります。PCカードのモードは出荷時設定のままで使用できます。

※1 通常はCardBusモードでお使いください。16bitモードでもお使いいただけますが、CardBusモードの方が、データ転送速度が速くなります。

※2 16bitモードではDVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

●「CardBus」という記述がない場合

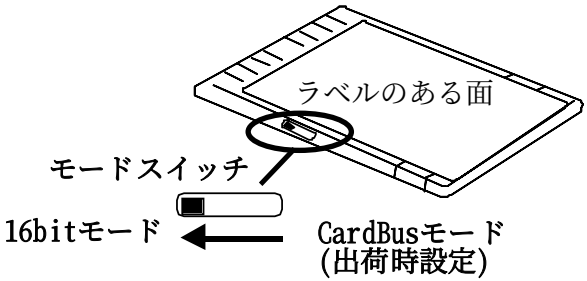
16bitモードでの使用となります。

モードを変更する

本製品のPCカードのモードは、出荷時CardBusモードに設定されています。
使用するモードがCardBusモードの場合は、そのままお使いください。
使用するモードが16bitモードの場合は、以下のように設定して、お使いください。

16bitモードへの設定方法

PCカード側面にあるモードスイッチを変更します。



ステップ2　インストールしよう

ここでは本製品をWindows 98/95上で使用するために必要なドライバソフトのインストールについて説明します。

ここでは、まだPCカードをパソコンに挿入しないでください。

1 **Windows 98/95を起動します。**

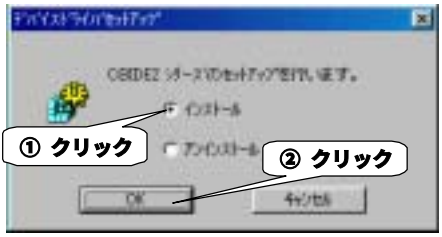
2 **「CBIDE IIシリーズサポートソフト」を挿入します。**

3 **「サポートソフト」内の「Ddsetup」を起動します。**

［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Win9x］→［Ddsetup］の順にダブルクリックします。



4 「インストール」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



5 インストールするデバイスを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

ここでは、【ステップ１】で設定したPCカードのモードと一致したものを選択してください。

PCカードのモード	選択するデバイス
CardBusモード	[CardBus Mode]
16bitモード	・PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン（PC-9821シリーズでないもの）を使用している場合 → [16Bit PC98-NX & DOS/V用] ・PC-9821シリーズを使用している場合 → [16Bit PC-9821用]



参考

はじめてインストールする場合は、[16Bit PIO Mode]を選択する必要はありません。[16Bit PIO Mode]は上記のモードで動作しない場合に選択します。

6 [OK] ボタンをクリックします。

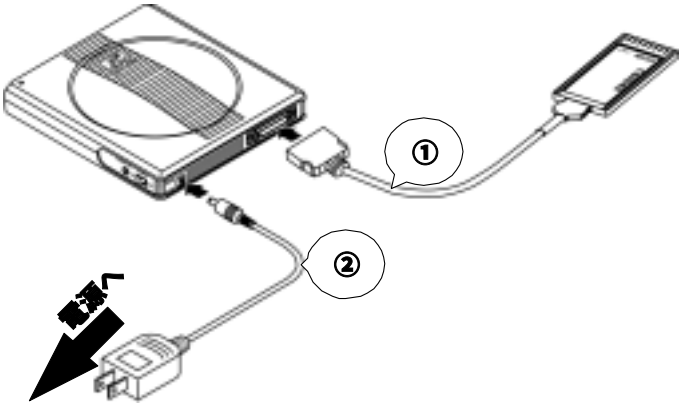


7 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

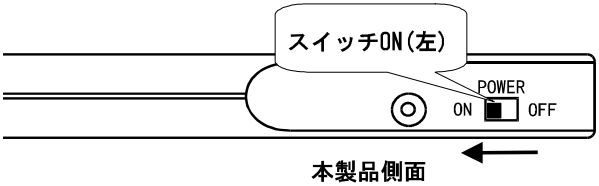
①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②ACアダプタを使用する場合は、本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。ACアダプタを使用しない場合は、必要ありません。ただしその場合、本製品は低速モードで動作します。

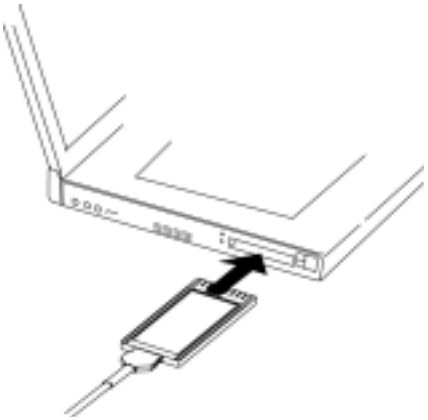
詳細は【ACアダプタを接続せずに使用したい場合】19ページ参照



8 本製品の電源を入れます。



9 **PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。**



10 **はじめて本製品のPCカードを挿入した場合は、「新しいハードウェア」画面等が表示され、しばらくすると画面は消えます。**

「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックします。

**インストールしたデバイス(24ページ 手順*5*)と、PCカードのモードが異なっています。デバイスとPCカードのモードを合わせてください。
デバイスを変える場合は、【サポートソフトを削除する場合】(43ページ)をご覧の上、削除した後、再びインストールしてください。**

**以上で本製品は使用できるようになりました。
次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。**

ステップ3

インストール後の確認

ここでは本製品がWindows 98/95上で正しく使用できるかどうかを確認します。

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

インストールしたサポートソフトを確認する

1 **「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［PCカード］アイコンをダブルクリックします。

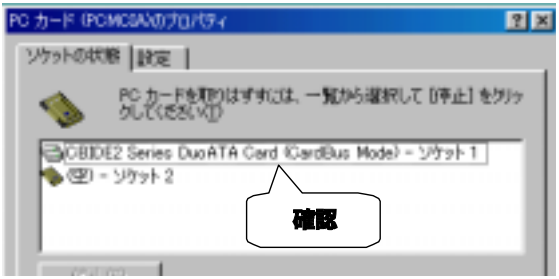


PCカードウィザードが起動した場合

画面の指示に従って実行します。
その後、もう一度［PCカード］アイコンをダブルクリックします。

2 「CBIDE2 Series DuoATA Card(xxxxxxx)」と表示されていることを確認します。

※ (xxxxxxx)にはPCカードが使用しているモードが入ります。



「(空)」と表示される

- PCカードが認識されていません。一度抜いてしっかりと挿入します。
- パソコン本体が16bit環境なのに、PCカードが「CardBusモード」になっています。「16bitモード」に変更してみてください。
- IBM製 ThinkPadでお使いの場合は、【PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される】(95ページ)を参照してください。

正しくない名前が表示される

- 【サポートソフトを削除する場合】(43ページ)をご覧になり、サポートソフトを削除した後、再度インストールしてください。

3 [OK] ボタンをクリックします。

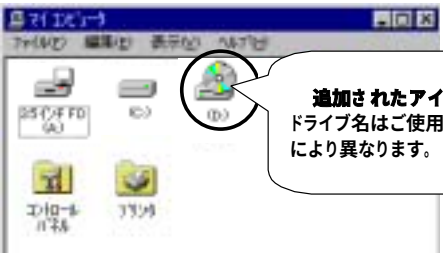
「PCカードのプロパティ」画面を閉じます。

接続を確認する

1　［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

2　［CD-ROMドライブ］アイコンがあることを確認します。

例）DOS/Vマシンの場合



アイコンがない

【「マイコンピュータ」の中に「CD-ROM」アイコンがない】(92ページ)をご覧ください。

参考

本製品のアイコンが分からない場合

DVD-ROMまたはCD-ROMを本製品にセットします。

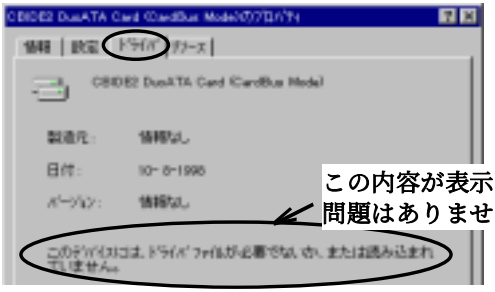
［CD-ROMドライブ］アイコンを順番にダブルクリックしていき、そのDVD-ROMまたはCD-ROMの内容が表示されれば、そのアイコンが本製品のものです。

正常に接続されていることを確認できましたら、通常お使いになる際の注意（電源を入れる順番等）が書かれている【ステップ４】(31ページ)へお進みください。

参考

Windows 95をお使いの場合

1)本製品のPCカードが正常に動作していても「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」で以下の画面表示となりますが、特に問題ありません。（CardBusモードでお使いの場合）



2) 本製品のPCカードが正常に認識されると「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」の「その他のﾃﾞﾊﾞｲｽ」に「？ PCMCIA ｶｰﾄﾞｻｰﾋﾞｽ」が追加される場合があります。
これは正常動作している状態ですので、削除したりしないでください。



3)本製品のPCカードを「CardBusモード」で使用する場合は、「競合するデバイス」に「CardBus Controller」が表示されますが、問題ありません。



ステップ4

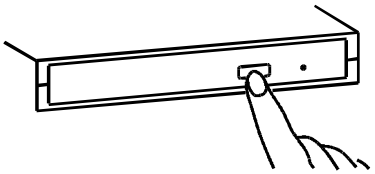
基本操作について

ここでは、本製品の基本的な操作方法について説明します。

DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合

1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2cm程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

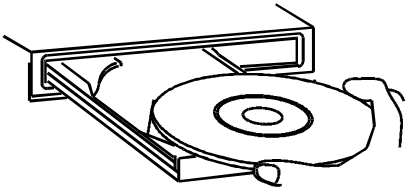
無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを入れる場合

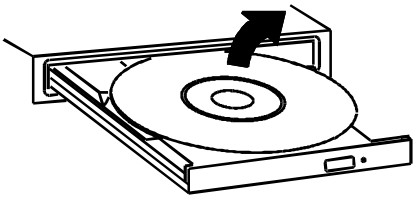
文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。

トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



ディスクを取り出す場合

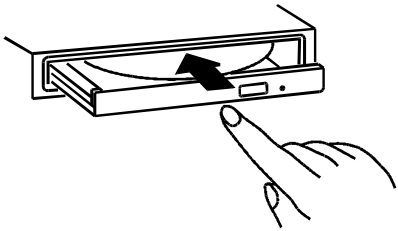
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



DVD/CD-ROMディスクが取り出せない → **【付録1 困ったときには】内の【DVD/CD-ROMディスクが取り出せない】(90ページ)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



注意

トレイを閉める際は、図１のように両サイドを押さえながら閉じてください。図２のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

図１

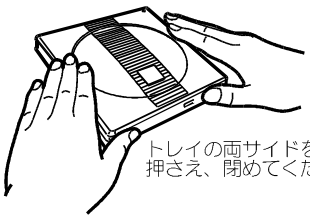
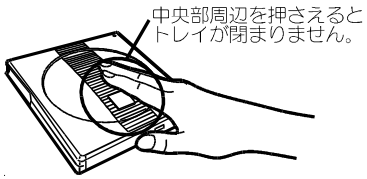


図２



PCカードをパソコンに挿入する場合

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも、本製品のPCカードをPCカードスロットに挿入できます。
ただし、ACアダプタを接続して使用する場合は、必ず本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。
ACアダプタを接続しないで使用する場合は、本製品のパワースイッチをONにしてから、PCカードを挿入してください。

PCカードをパソコンから取り外す場合

1 **本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。**

2 **本製品からDVD/CD-ROMディスクを取り出します。**

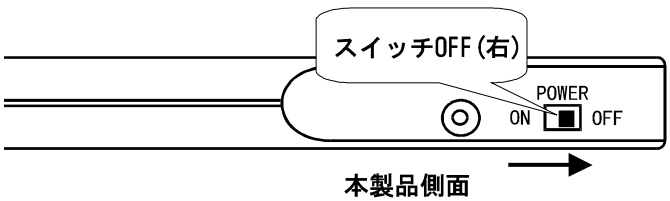
3 **パソコンの電源を切ります。**

参考

Windows 98/95を使用中にPCカードを取り外すこともできます。
その際には、必ず【補足*1*】(35ページ)の作業を行ってください。

4 **PCカードをパソコンから取り外します。**

5 **本製品の電源を切ります。**



ステップ5

それでは使ってみよう

ここでは、DVD/CD-ROMを使うための基礎知識について説明します。

DVD/CD-ROM内のファイルを見るには

[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から見ることができます。

DVDビデオを再生するには

ソフトウェアデコーダが必要です。

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンをお使いの場合は、添付のPowerDVD 2000をご使用ください。 ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ使用可能です。

※PowerDVD 2000に関して、弊社ではお問い合わせは受け付けておりません。

※16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。（コマ落ちが発生します。）

※PowerDVD 2000はNEC PC-9821シリーズに対応しておりません。

PowerDVD 2000に関するお問い合わせ

●お問い合わせ先	サイバーリンク株式会社
●ホームページ	http://www.cli.co.jp/
●Q&Aホームページ	http://www.cli.co.jp/support/Pdvdfaq.htm
●TEL	03-3662-8076
●FAX	03-3662-8009
●E-mail	support@cli.co.jp

音楽CDを再生するには

【補足２ 音楽CDを再生する場合】(39ページ)を参照してください。

Photo CDを見るには

添付ユーティリティ（PCD View）で可能です。

詳細は【付録２】(107ページ)参照。

補 足1　OS上でPCカードを取り外す場合

Windows 98/95を使用中でもPCカードをPCカードスロットから取り外すことができます。
ただし、次ページ以降の終了手順を行ってください。
終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

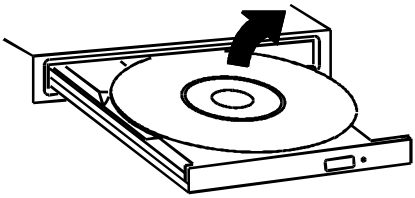
PCカードを取り外す際には、次ページの【終了手順－その１】または【終了手順－その２】(37ページ)に従って行ってください。



終了手順ーその１

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。(詳細は【ステップ４】(31ページ)参照)

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



2 タスクバー上からCBIDE2の中止を選択します。

タスクバー上の(PCカード)アイコンをクリックします。表示された「CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）の中止」をクリックします。図（※）のアイコンの場合は、表示が異なります。



3 [OK] ボタンをクリックします。

上図（※）のアイコンの場合は、表示が異なります。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

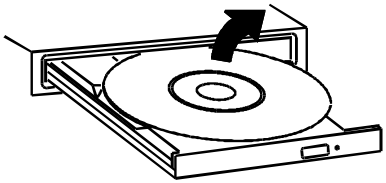
それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了しパソコンの電源を切ってから取り外してください。

4 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

終了手順ーその２

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。(詳細は【ステップ４】(31ページ)参照)

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



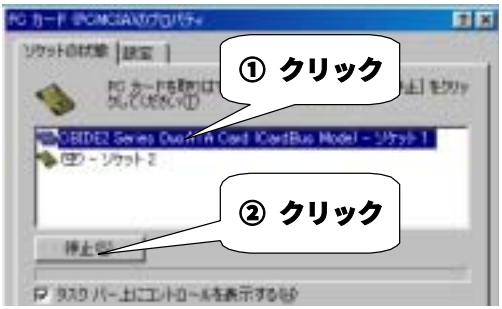
2 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［PCカード］アイコンをダブルクリックします。



3 [PCカード(PCMCIA)のプロパティ]画面上からCBIDE2の中止を選択します。

「CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）」をクリックし、［停止］（または［終了］）ボタンをクリックします。



4　[OK] ボタンをクリックします。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了しパソコンの電源を切ってから取り外してください。

5　PCカードをPCカードスロットから取り外します。

補 足2　音楽CDを再生する場合

添付ユーティリティ（CD Player）にて再生可能です。（詳細は【付録２】(107ページ)参照）

参考

Windows標準の［CDプレーヤー］でも再生できます。
（［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］（Windows95の場合は［マルチメディア］）→［CDプレーヤー］で起動）

また、音楽CDを聞くには、オーディオケーブルまたはアンプ付きスピーカーが必要になります。

・Windows 95の場合

【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合】(42ページ)へお進みください。

・Windows 98の場合

パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽CDを聞くこともできます。（その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。）

まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。（以下の【デジタルオーディオ機能対応の確認】へお進みください。）

デジタルオーディオ機能対応の確認（Windows 98のみ）

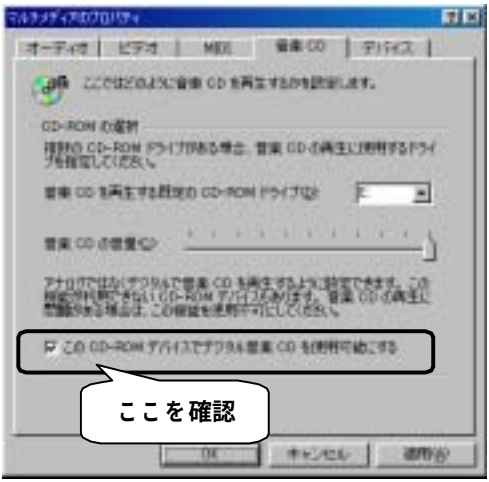
1　本製品をパソコンに接続します。

2　[マルチメディアのプロパティ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［マルチメディア］アイコンをダブルクリックします。

3　「音楽CD」タブをクリックします。

4 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。

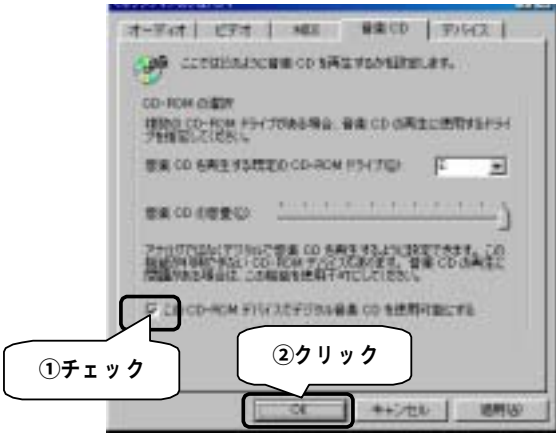


表示が無い場合 → お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合】(42ページ)へお進みください。

表示がある場合 → デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページ【デジタルオーディオ機能の設定】へお進みください。

デジタルオーディオ機能の設定（Windows 98のみ）

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。

注意

1)デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
2)デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。

参考

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合

音楽CDを聞くには、「Windows 98でのデジタルオーディオ機能」以外に、以下の方法があります。

方法①：市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

参考

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



方法②：本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば聞くことができます。

注意

1)本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。
2)本製品にボリューム機能はありません。ボリューム付きのスピーカー等でボリュームを調整してください。

補 足3

サポートソフトを削除する場合

本製品を使わなくなったり、「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を再インストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 PCカードをパソコンのPCカードスロットから抜きます。

（【補足１】(35ページ)参照）

注意

必ずPCカードスロットから取り外してください。

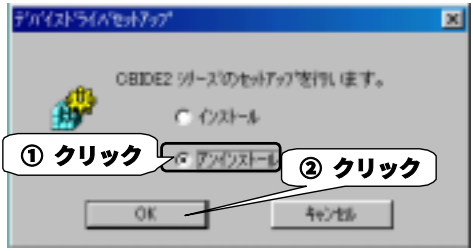
2 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を挿入します。

3 「サポートソフト」内の「Ddsetup」を起動します。

［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Win9x］→［Ddsetup］の順にダブルクリックします。



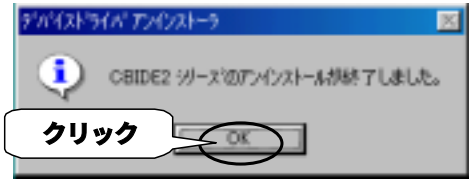
4 「アンインストール」をクリックし、 [OK]ボタンをクリックします。



5 [OK] ボタンをクリックします。

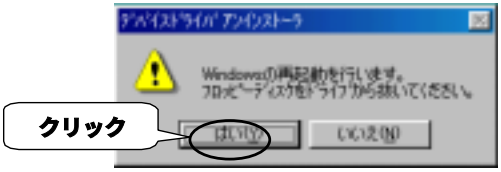


6 [OK] ボタンをクリックします。



7 「CBIDE II シリーズサポートソフト」を抜きます。

8 [はい] ボタンをクリックします。



以上でサポートソフトの削除は完了です。

Windows 2000でご使用の場合

ここではWindows 2000で使用する際の設定について説明します。

ステップ１

PCカードのモードを設定しよう

本製品のPCカードのモードを設定します。(46ページ)

▼

ステップ２

インストールしよう

本製品を使用するために必要なソフトウェアのインストールについて説明します。(50ページ)

▼

ステップ３

インストール後の確認

本製品が正常に使用できるか確認します。(56ページ)

▼

ステップ４

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明します。(58ページ)

▼

ステップ５

それでは使ってみよう

DVD/CD-ROMの活用方法について説明します。(61ページ)

補足１

OS上でPCカードを取り外す場合

OS起動中のPCカードの取り外す方法について説明します。(62ページ)

補足２

音楽CDを再生する場合

音楽CDを再生する場合の設定･接続方法について説明します。(66ページ)

補足３

サポートソフトを削除する場合

インストールしたサポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。(70ページ)

ステップ1

PCカードのモードを設定しよう

ここでは本製品のPCカードのモードについて説明します。
PCカードのモードを正しく設定しないと本製品が使用できません。
パソコンによっては使用できるモードが異なりますので、必ず確認した上で、設定してください。

PCカードのモードについて

本製品のPCカードにはCardBusモードと16bitモードの２つのモードがあります。
（モードの設定については次ページ以降で確認してください。）

CardBusモード ※1	バスマスタ転送方式で32bitデータ高速転送を行います。16bitモードよりも高速です。 ただし、パソコンによっては、CardBusモードに設定できない場合があります。
16bitモード ※2	UltraSMIT転送方式で16bitデータ高速転送を行います。CardBusモードよりも低速です。 CardBusモードに対応していないパソコンをお使いの場合に設定してください。

※1 本製品にACアダプタを接続しないで使用する場合は、CardBusモードでは使用できません。16bitモードでご使用ください。
（詳細は、【ACアダプタを接続せずに使用したい場合】次ページ参照）
※2 16bitモードではDVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

ACアダプタを接続せずに使用したい場合

本製品は、PCカード経由でパソコン本体から電源供給を受けることができるため、ちょっとしたインストールの場合等、添付のACアダプタを接続しない状態でも使用できます。

ただし、ACアダプタを接続しない場合は、以下の①～③の制限があります。

① 本製品は「低速モード」で動作します。
　※ 2.5倍速DVD-ROMリード(最大3.4MB/秒)、12倍速CD-ROMリード(最大1.8MB/秒)となります。
　※ 低速モード時、パワースイッチON時のパワーランプはオレンジ色に点灯します。
② PCカードは「16bitモード」にする必要があります。
　「CardBusモード」では動作しません。
③ DVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

※ACアダプタを接続しない場合でも、本製品のパワースイッチはONにする必要があります。
※一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。

ACアダプタを接続する場合 → **次ページへお進みください。**

ACアダプタを接続しない場合 → **16bitモードに設定します。【モードを変更する】(49ページ)へお進みください。**

使用できるモードを確認する

本製品にACアダプタを接続して使用する場合は、まず、本製品のPCカードをどのモードで使用できるかを確認します。

確認方法

1 [システムのプロパティ]を表示させます。

［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 「CardBus」の記述を確認します。

［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］ボタンをクリックし、［PCMCIAアダプタ］をダブルクリックします。
表示に「CardBus」という、記述があるかどうかを確認します。



●「CardBus」という記述がある場合

CardBusモード での使用となります。PCカードのモードは出荷時設定のままで使用できます。

※1 通常はCardBusモードでお使いください。16bitモードでもお使いいただけますが、CardBusモードの方が、データ転送速度が速くなります。

※2 16bitモードではDVDビデオの再生は行えません。（コマ落ちが発生します。）

●「CardBus」という記述がない場合

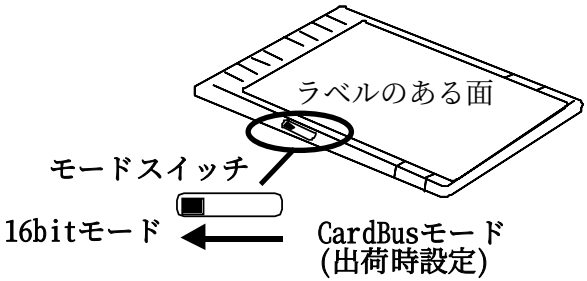
16bitモードのみでの使用となります。

モードを変更する

本製品のPCカードのモードは、出荷時CardBusモードに設定されています。
使用するモードがCardBusモードの場合は、そのままお使いください。
使用するモードが16bitモードの場合は、以下のように設定して、お使いください。

16bitモードへの設定方法

PCカード側面にあるモードスイッチを変更します。



ステップ2 インストールしよう

ここでは本製品をWindows 2000上で使用するために必要なドライバソフトのインストールについて説明します。

ここでは、まだPCカードをパソコンに挿入しないでください。

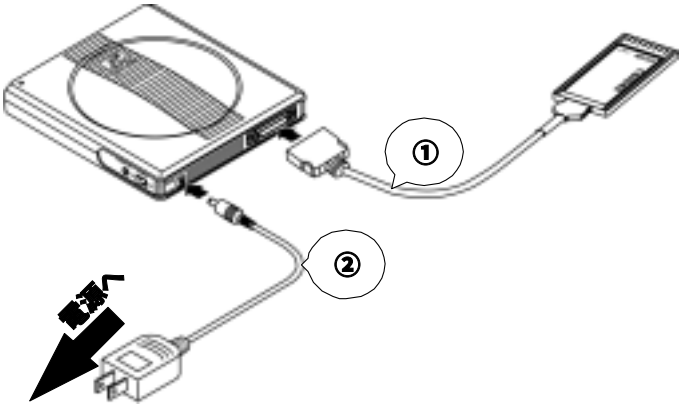
1 Windows 2000を起動します。

2 「CBIDE IIシリーズサポートソフト」を挿入します。

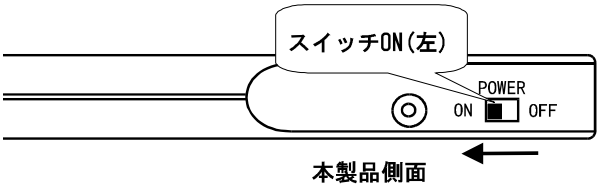
3 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

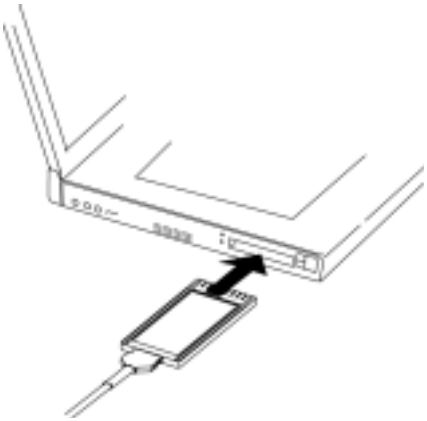
②ACアダプタを使用する場合は、本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。ACアダプタを使用しない場合は、必要ありません。ただしその場合、本製品は低速モードで動作します。（詳細は【ACアダプタを接続せずに使用したい場合】47ページ参照）



4 本製品の電源を入れます。

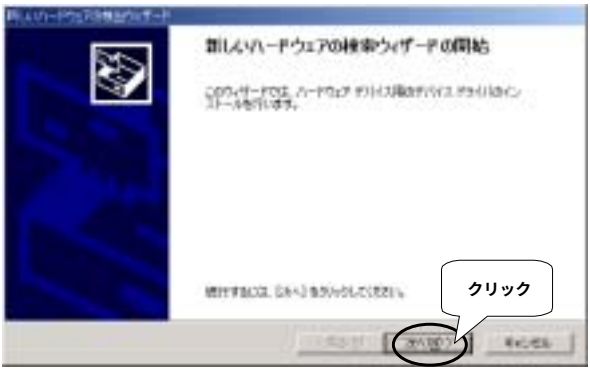


5 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。

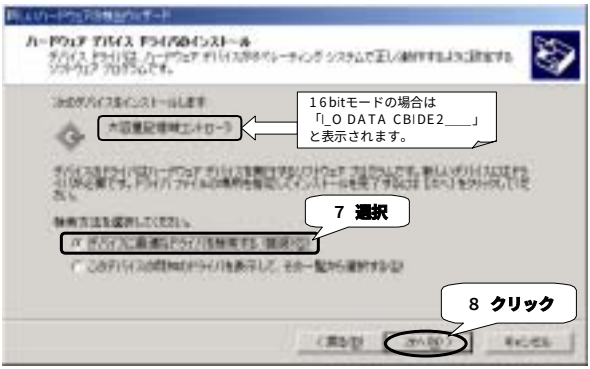
画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。



7 **「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。**

8 **［次へ］ボタンをクリックします。**

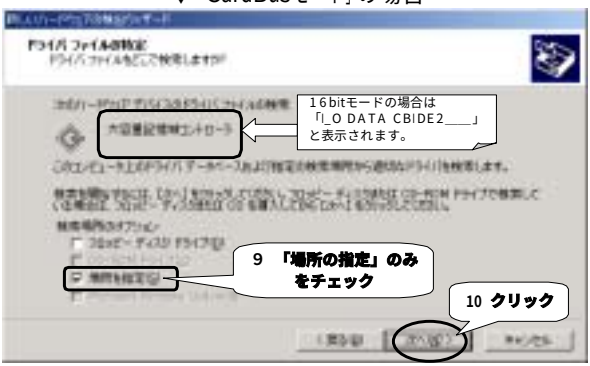
▼「CardBusモード」の場合



9 **「場所を指定」のみにクリックしてチェックを付け、他のチェックを外します。**

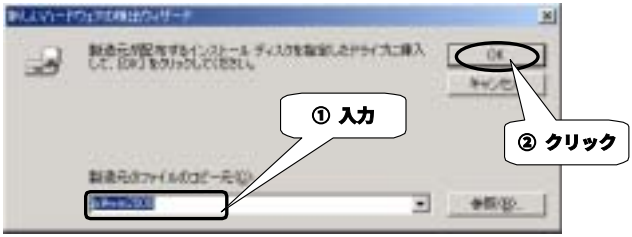
10 **［次へ］ボタンをクリックします。**

▼「CardBusモード」の場合



11 「win2000」フォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

サポートソフト内の「win2000」フォルダを指定します。
その後、［OK］ボタンをクリックします。



フロッピーディスクドライブがAの場合

12 表示を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

表示は以下のようになります。

※②はフロッピーディスクドライブがAの場合

CBIDEII（CardBus Mode）の場合
① 「大容量記憶域コントローラ」 or
「CBIDE2 Series DuoATA Card(CardBus Mode)」
② 「a:\win2000\duo32w2k.inf」

CBIDEII（16Bit Mode）の場合
① 「IO_DATA CBIDE2__」 or 「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」
② 「a:\win2000\duo16w2k.inf」

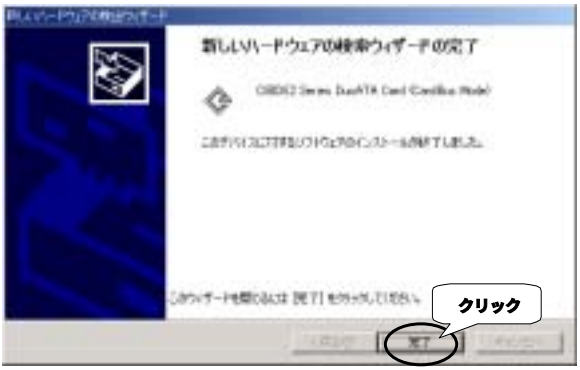


13 ［はい］ボタンをクリックします。

「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されますが、［はい］ボタンをクリックします。



14 ［完了］ボタンをクリックします。



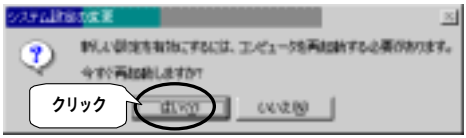
15 サポートソフトを取り出します。

サポートソフトをフロッピーディスクドライブから取り出します。

16 以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 2000が再起動されます。

以下の画面が表示されない場合はそのまま使用できます。



以上で本製品の接続は完了です。次ページへお進みください。

CardBusモードで使用時の注意

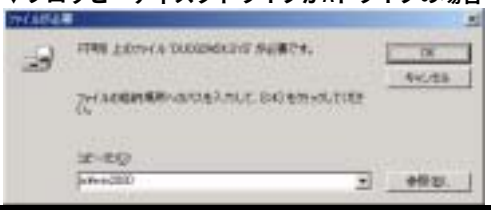
PCカードを、インストール時に接続していたスロットと別のスロットに接続した場合は、以下の手順にしたがってください。

① 手順 13 の画面が表示されますので、
このスロットで使用する場合は [はい]ボタンをクリックします。
このスロットでご使用にならない場合は [いいえ]ボタンをクリックします。（[いいえ]ボタンをクリックした場合は、インストール時に接続していたスロットにPCカードを接続してご使用ください。）

② フロッピーディスクドライブにCBIDEIIシリーズサポートソフトを挿入します。

③ 以下の画面で「 a:\win2000 」と入力して[OK]ボタンをクリックします。

▼フロッピーディスクドライブがAドライブの場合



ステップ3　インストール後の確認

ここでは本製品がWindows 2000で正しく使用できることを確認します。

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

1　**タスクトレイにPCカードアイコンがあることを確認します。**

右下のタスクトレイにPCカードのアイコンがあることを確認します。

2　**タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。**

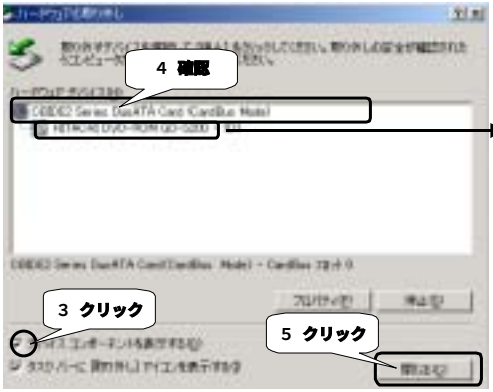
「ハードウェアの取り外し」が開きます。



3　**「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックが入ってない場合は、クリックしてチェックします。**

4　**PCカードが正常に認識されていることを確認します。**

「CBIDE2 Series DuoATA Card(xxxxx)」と表示されていることを確認します。　※ (xxxxx)にはPCカードが使用しているモードが入ります。



「HITACHI DVD-ROM GD-S200」という記述がない場合は、以下の手順にしたがってください。

①Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
②本製品の電源を切ります。
③PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④PCカードをパソコンに装着します。
⑤本製品の電源を入れます。
⑥パソコンの電源を入れます。

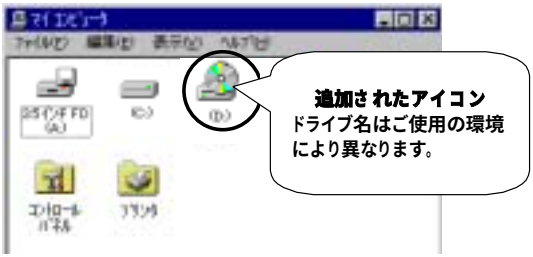
5　**[閉じる] ボタンをクリックします。**

6　**[マイコンピュータ] をダブルクリックします。**

7　**[CD-ROM]アイコンが追加されていることを確認します。**

本製品に任意のCD-ROMディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。

例) DOS/Vマシンの場合



ドライブアイコンが表示されていない場合

以下の手順にしたがってください。
①Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
②本製品の電源を切ります。
③PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④PCカードをパソコンに装着します。
⑤本製品の電源を入れます。
⑥パソコンの電源を入れます。

問題がなければ、次ページへお進みください。

ステップ4

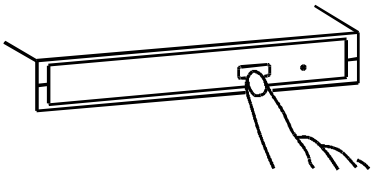
基本操作について

ここでは、本製品の基本的な操作方法について説明します。

DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合

1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2cm程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

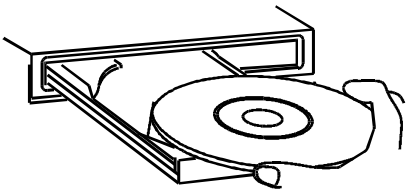
無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを入れる場合

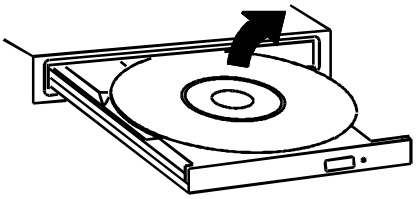
文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。

トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



ディスクを取り出す場合

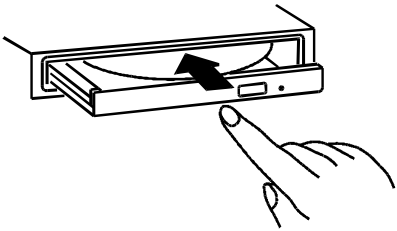
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



DVD/CD-ROMディスクが取り出せない → **【付録1 困ったときには】内の【DVD/CD-ROMディスクが取り出せない】(90ページ)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



注意

トレイを閉める際は、図１のように両サイドを押さえながら閉じてください。図２のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

図１

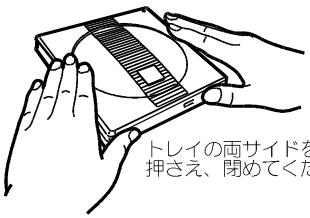
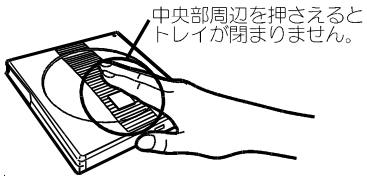


図２



PCカードをパソコンに挿入する場合

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも、本製品のPCカードをPCカードスロットに挿入できます。
ただし、ACアダプタを接続して使用する場合は、必ず本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。
ACアダプタを接続しないで使用する場合は、本製品のパワースイッチをONにしてから、PCカードを挿入してください。

PCカードをパソコンから取り外す場合

1 **本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。**

2 **本製品からDVD/CD-ROMディスクを取り出します。**

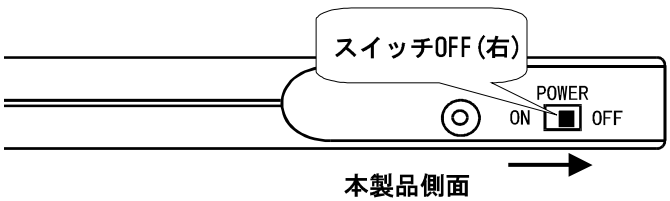
3 **パソコンの電源を切ります。**

参考

Windows 2000を起動中にPCカードを取り外すこともできます。
その際には、必ず【補足*1*】(62ページ)の作業を行ってください。

4 **PCカードをパソコンから取り外します。**

5 **本製品の電源を切ります。**



ステップ5　それでは使ってみよう

ここでは、DVD/CD-ROMを使うための基礎知識について説明します。

DVD/CD-ROM内のファイルを見るには

[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から見ることができます。

DVDビデオを再生するには

ソフトウェアデコーダが必要です。

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンをお使いの場合は、添付のPowerDVD 2000をご使用ください。 **ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ使用可能です。**

※PowerDVD 2000に関して、弊社ではお問い合わせは受け付けておりません。

※16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。（コマ落ちが発生します。）

※PowerDVD 2000はNEC PC-9821シリーズに対応しておりません。

PowerDVD 2000に関するお問い合わせ

●お問い合わせ先	サイバーリンク株式会社
●ホームページ	http://www.cli.co.jp/
●Q&Aホームページ	http://www.cli.co.jp/support/Pdvdfaq.htm
●TEL	03-3662-8076
●FAX	03-3662-8009
●E-mail	support@cli.co.jp

音楽CDを再生するには

【補足２　音楽CDを再生する場合】（66ページ）を参照してください。

※添付の「DVDP-iシリーズユーティリティ」はWindows 2000ではご利用いただけません。

補 足1　OS上でPCカードを取り外す場合

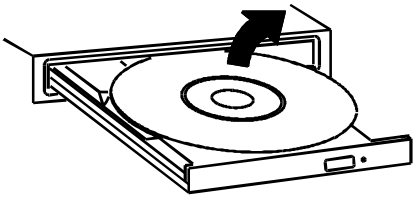
Windows 2000を使用中でもPCカードをPCカードスロットから取り外すことができます。
ただし、次ページ以降の終了手順を行ってください。
終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

PCカードを取り外す際には、次ページの【終了手順－その１】または【終了手順－その２】(64ページ)に従って行ってください。

終了手順ーその１

1 **イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。(詳細は【ステップ４】(58ページ)参照)**

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



2 **タスクトレイのPCカードアイコンをクリックします。**



3 **「CBIDE2 Series DuoATA……の中止」をクリックします。**

タスクバーのPCカードアイコンをクリックします。表示された［CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）の中止］をクリックします。



4 **［OK］ボタンをクリックします。**

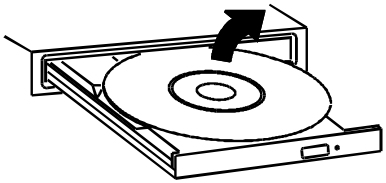


5 **PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

終了手順ーその2

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。(詳細は【ステップ4】(58ページ)参照)

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



2 タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。

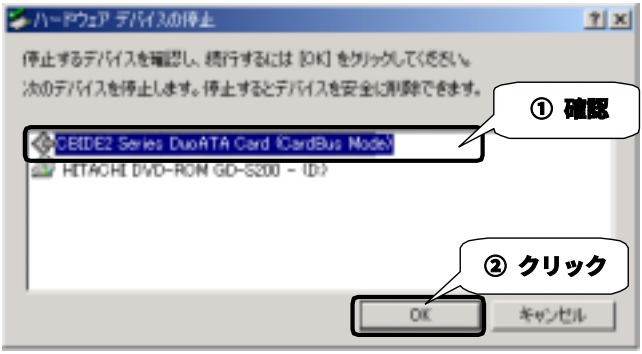
「ハードウェアの取り外し」が開きます。

3 本製品を選択し、［停止］ボタンをクリックします。



4 本製品を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

「CBIDE2 Series DuoATA Card（xxxx）」が表示されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。



6 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

補 足2

音楽CDを再生する場合

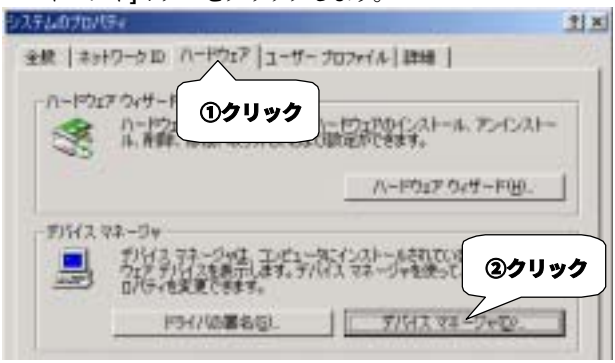
パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽CDを聞くこともできます。（その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。）まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。（以下の【デジタルオーディオ機能対応の確認】へお進みください。）

デジタルオーディオ機能対応の確認

1 本製品をパソコンに接続します。

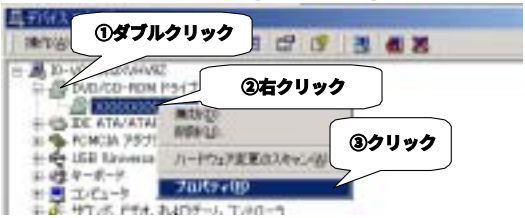
2 [デバイスマネージャ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

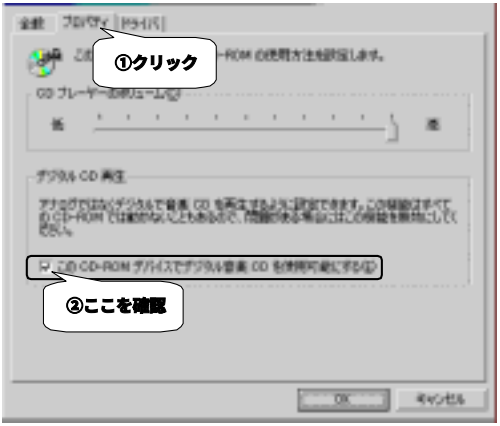


3 接続したドライブのプロパティを開きます。

[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、接続したドライブを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。



4 [プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。

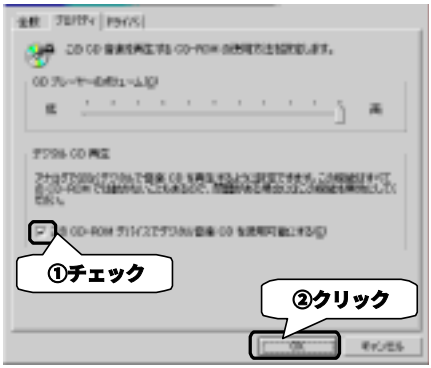


表示が無い場合 → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合】(69ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページ【デジタルオーディオ機能の設定】へお進みください。**

デジタルオーディオ機能の設定

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



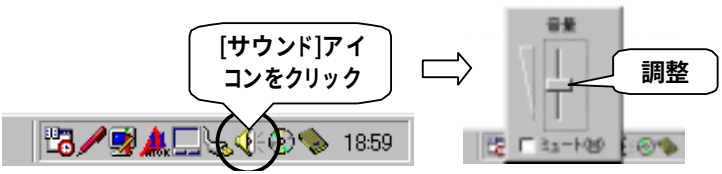
以上で設定終了です。

注意

1)デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
2)デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。

参考

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合

音楽CDを聞くには、「デジタルオーディオ機能」以外に、以下の方法があります。

方法①：市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

参考

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



方法②：本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば聞くことができます。

注意

1)本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。
2)本製品にボリューム機能はありません。ボリューム付きのスピーカー等でボリュームを調整してください。

補 足3

サポートソフトを削除する場合

本製品を使わなくなったり、「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を再インストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 **PCカードが挿入されている状態でパソコンを起動します。**

2 **［デバイスマネージャ］を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［システム］→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをダブルクリックします。

3 **［CBIDE2 Series DuoATA Card(XXX)］をクリックします。**

4 **右クリックして表示されたメニューから『削除』をクリックします。**

5 **PCカードを抜き、パソコンを再起動します。**

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

CardBusモードでご使用で、55ページの方法でそれぞれのスロットに対してインストールを行った場合は、それぞれのスロットに対して削除を行ってください。

Windows NT 4.0でご使用の場合

ここではWindows NT 4.0で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

インストールしよう

本製品を使用するために必要なソフトウェアのインストールについて説明します。(72ページ)

▼

ステップ2

インストール後の確認

本製品が正常に使用できるか確認します。(77ページ)

▼

ステップ3

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(82ページ)

▼

ステップ4

それでは使ってみよう

DVD/CD-ROMの活用方法について説明します。(85ページ)

補足1

サポートソフトを削除する場合

インストールしたサポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。(86ページ)

ACアダプタを接続せずに使用したい場合

本製品は、PCカード経由でパソコン本体から電源供給を受けることができるため、ちょっとしたインストールの場合等、添付のACアダプタを接続しない状態でも使用できます。

ただし、ACアダプタを接続しない場合は、以下の制限があります。

※ ACアダプタを接続しない場合でも、本製品のパワースイッチはONにする必要があります。

※ 一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。

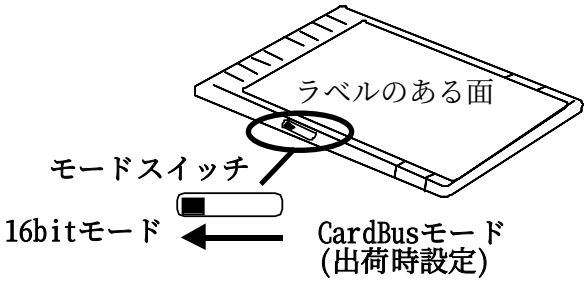
本製品は低速モードで動作します。
※ 2.5倍速DVD-ROMリード(最大3.4MB/秒)、12倍速CD-ROMリード(最大1.8MB/秒)となります。

●低速モード時のパワーランプ色
低速モード時は、パワースイッチON時のパワーランプはオレンジ色に点灯します。

この後、次ページへお進みください。

インストールする

1 本製品のPCカード側面にあるモードスイッチを「16bitモード」に変更します。



2 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

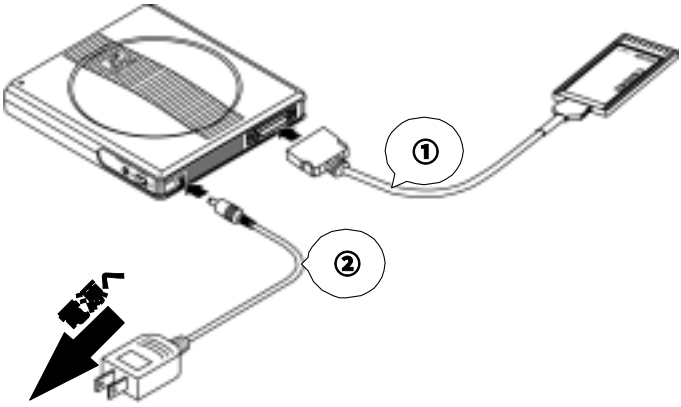
①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

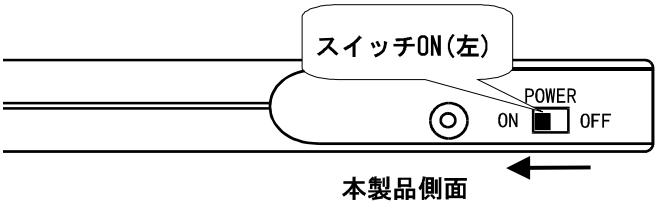
※ACアダプタを接続せずに使用することもできます。

ただしその場合、本製品は低速モードで動作します。

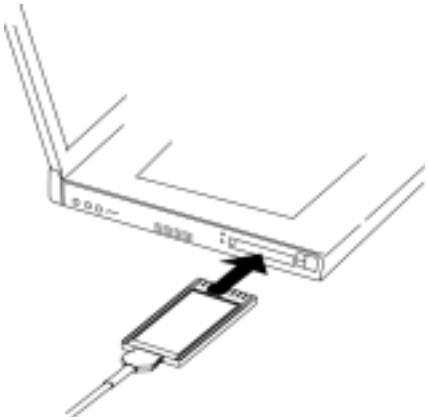
詳細は【ACアダプタを接続せずに使用したい場合】前ページ参照



3 DVD-ROMドライブの電源を入れます。



4 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。



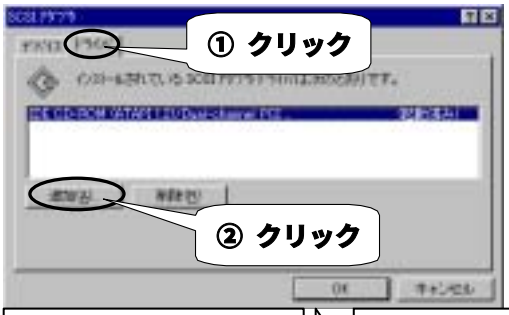
5 Windows NT 4.0を起動します。

Administrator権限のあるユーザーでログインしてください。

6 ［SCSIアダプタ］画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

7　［ドライバ］タブ内にある［追加］ボタンをクリックします。

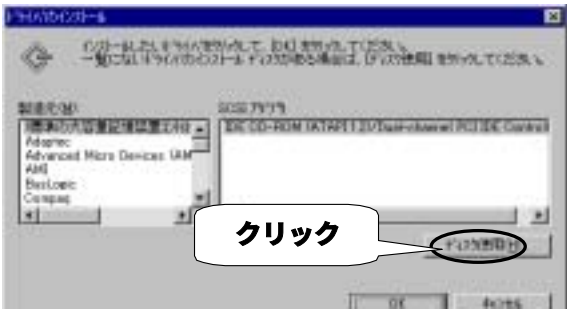


「追加」ボタンをクリックできない

インストールの際は、Administrater権限のあるユーザーでログインしてください。

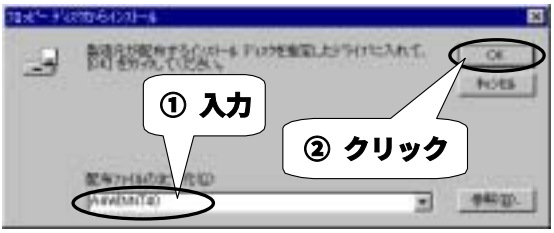
8　「CBIDE IIシリーズサポートソフト」を挿入します。

9　［ディスク使用］ボタンをクリックします。



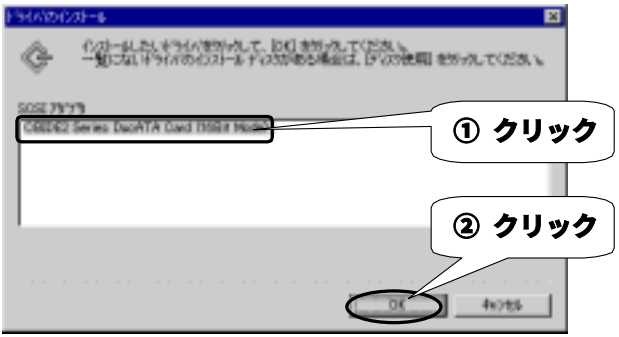
10 「WINNT40」フォルダを入力します。

「配布ファイルのコピー元」に「A:\WINNT40」（フロッピーディスクドライブがAの場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックします。



11 本製品を選択します。

［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。



12 インストール終了後に「CBIDEIIシリーズサポートソフト」を抜きます。

13 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。



以上で本製品は使用できるようになりました。

ステップ2　インストール後の確認

ここでは本製品が正しく使用できるかどうかを確認します。

1 ［SCSIアダプタ］画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

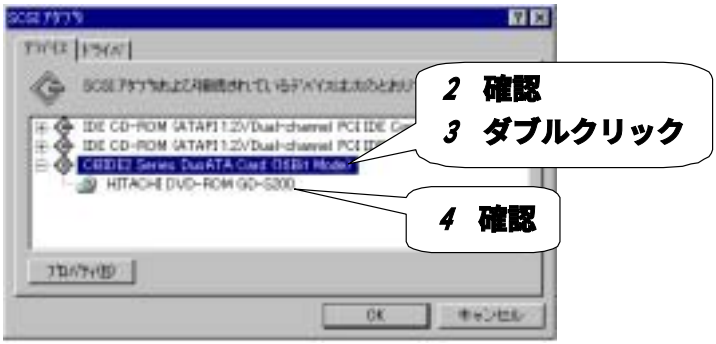
2 「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」と表示されていることを確認します。

表示されていない	PCカードの接続を確認してください。

3 「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」をダブルクリックします。

4 DVD-ROMドライブがあることを確認します。

「HITACHI DVD-ROM GD-S200」と表示されていることを確認します。



表示されていない	【リソースの競合を回避する(RESEDIT)】次ページをご覧ください。

リソースの競合を回避する(RESEDIT)

Windows NT 4.0において、万が一リソースの競合が発生した場合、添付の「RESEDIT」で回避することができます。

【インストール後の確認】前ページによって問題が発見された場合は、「RESEDIT」を使って、リソースを変更してください。

注意

1) RESEDITを使用する時は、Windows NT 4.0にAdministratorでログインしてください。Administratorでログインしていないと、RESEDITが正常に動作しません。
RESEDITによる変更の結果は他の権限でログインし直した場合にも反映されます。
2.RESEDITを起動するときは 必ずPCカードを挿入した状態で起動してください。
PCカードを挿入していないと、リソースの設定欄に値が表示されません。

参考

Windows NT 4.0で本製品のPCカードに割り当てられたリソースの値を確認する方法は４つあります。
１．［コントロールパネル］→［SCSIアダプタ］→［プロパティ］→［リソース］タブ
２．［コントロールパネル］→［PCカード］→［プロパティ］→［リソース］タブ
３．［プログラム］→［管理ツール（共通）］→［Windows NT 診断プログラム］→［リソース］タブ
４．ここで説明されている「RESEDIT」
上記の１．２．で表示される値は実際と異なることがあります。
３．４．の方法で確認することをお勧めします。

RESEDITの使用方法

1 「CBIDEIIシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

2 以下の順にダブルクリックします。

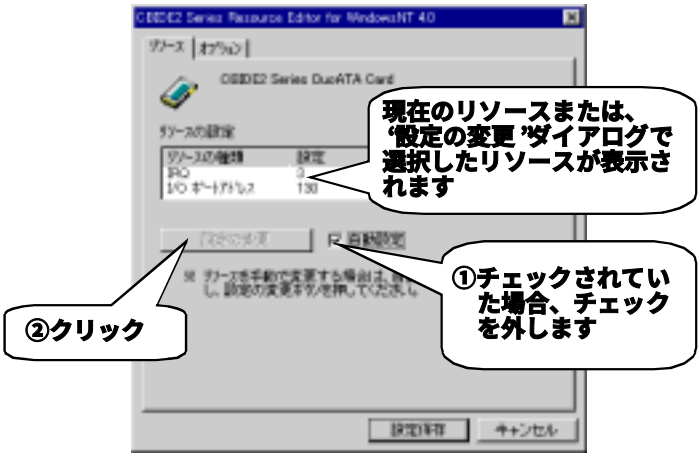
[ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]→[3.5インチFD]→[WINNT40]→[Resedit.exe]

3 競合している「リソースの種類」をクリックします。

競合しているリソースの種類（IRQまたはI/Oポート）をクリックします。

4 リソースの設定変更画面を表示させます。

［自動設定］がチェックされていた場合はチェックを外し、［設定の変更］ボタンをクリックします。



5 **［▼］ボタンをクリックし、リソースの値を選択します。**

6 **［OK］ボタンをクリックします。**

7 **設定を保存するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

8 **再起動するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

参考：「オプション」タブ

本製品に対するオプション設定はありません。



ステップ3

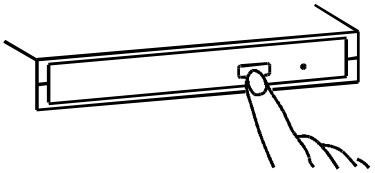
基本操作について

ここでは、本製品の基本的な操作方法について説明します。

DVD/CD-ROMディスクを出し入れする場合

1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2cm程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

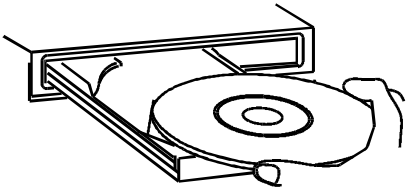
無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを入れる場合

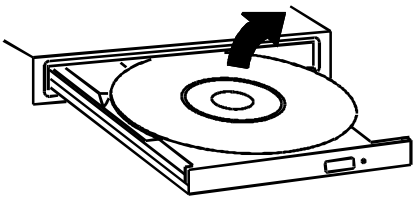
文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。

トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



ディスクを取り出す場合

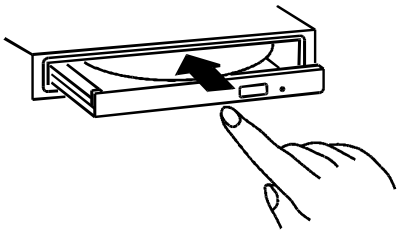
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



DVD/CD-ROMディスクが取り出せない → **【困ったときには】内の【DVD/CD-ROMディスクが取り出せない】(P90)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



注意

トレイを閉める際は、図１のように両サイドを押さえながら閉じてください。図２のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。

図１

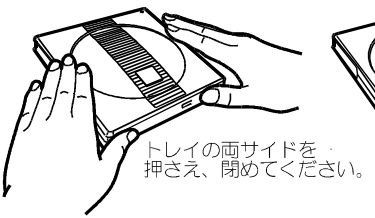
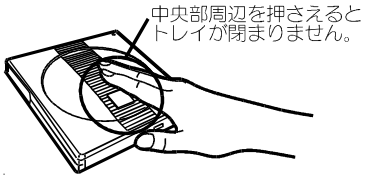


図２



PCカードをパソコンに挿入する場合

本製品をパソコンに接続する場合には、以下のことを必ず守ってください。

・パソコンの電源を入れる前に接続してください。

・ACアダプタを接続して使用する場合は、本製品の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。ACアダプタを接続しないで使用する場合は、本製品のパワースイッチをONにしてから、パソコンの電源を入れてください。

PCカードをパソコンから取り外す場合

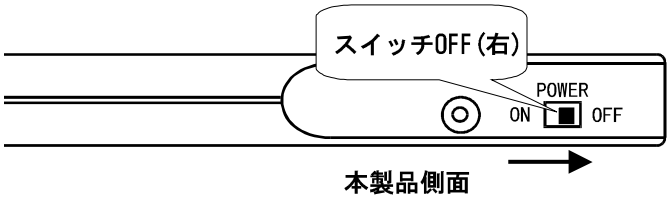
1 **本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。**

2 **本製品からDVD/CD-ROMディスクを取り出します。**

3 **パソコンの電源を切ります。**

4 **PCカードをパソコンから取り外します。**

5 **本製品の電源を切ります。**



ステップ4　それでは使ってみよう

ここでは、DVD/CD-ROMを使うための基礎知識について説明します。

DVD/CD-ROM内のデータを見るには

[マイコンピュータ]から、または[エクスプローラ]から見ることができます。

音楽CDを再生するには

Windows標準の「CDプレーヤ」をご利用ください。

※添付の「DVDP-iシリーズユーティリティ」はWindows NT 4.0ではご利用いただけません。

また、接続に関しては、【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く場合】(42ページ)を参照してください。

補 足1

サポートソフトを削除する場合

本製品を使わなくなったり、「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を再インストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 **［SCSIアダプタ］画面を表示させます。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 **本製品のドライバを削除します。**

［ドライバ］タブ内の［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［削除］ボタンをクリックします。



3 **［はい］ボタンをクリックします。**



4 **［OK］ボタンをクリックし、「SCSIアダプタ」を閉じます。**

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使用できなくなります。

付録１　困ったときには

基本的なトラブル　OSに関係しない異常について説明します。(89ページ)

Windows 98/95でのトラブル　Windows 98/95で本製品を使用する際の異常について説明します。(92ページ)

環境	内容	ページ
基本	本製品のパワーランプが点灯しない	８９
	BUSYランプが点滅しない	
	DVD/CD-ROMディスクが取り出せない	９０
	音が出ない	９１
Win98/95	「マイコンピュータ」の中に「CD-ROM」アイコンがない	９２
	DVD/CD-ROMディスクが読めない	９４
	PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される	９５
	VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない	９７
	PC98-NXシリーズで、［デバイスマネージャ］タブが表示されない	９８
	OS起動中に止まってしまう	
	Windows 98の終了画面で止まってしまう	９９
	PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない	１０３
	PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」画面等が表示されたまま、消えない	

環境	内容	ページ
Win98/95	音楽CDを再生すると、『CD Player』のカウンタ表示は進むが、パソコン本体のスピーカーから音が聞こえない	１０４
	添付ユーティリティ『CD Player』を起動した際に、「CD Audioデバイスはすでに使用されています」というエラーがでる	
	AVIファイル等の再生でコマ落ちがおきる	１０５
	添付ユーティリティ『CD Player』のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行うと、「トラックアドレスが取得できません」というエラーが出る	１０６
	添付ユーティリティ『PCD View』で画像を表示できない	

基本的なトラブル

本製品のパワーランプが点灯しない

原因１ 本製品とACアダプタの接続またはPCカードのモードが間違っている

ACアダプタを接続して使用している場合は、以下を確認してください。

・ACアダプタが外れていないか
・PowerスイッチがONになっているか

ACアダプタを接続しないで使用している場合は、以下を確認してください。

・接続ケーブルのコネクタが外れていないか
・PowerスイッチがONになっているか
・PCカードのモードが「16bitモード」になっているか
（ACアダプタを接続せずに使用するには、PCカードのモードを「16bitモード」に設定する必要があります。）

原因２ 本製品が故障している

弊社修理係にご依頼ください。（136ページをご覧ください。）

BUSYランプが点滅しない

原因１ ディスクがトレイに確実に入っていない

ディスクがトレイに確実に入っていることを確認してください。

原因２ ケーブル等が確実に接続されていない

接続ケーブルの接続を確認してください。

DVD/CD-ROMディスクが取り出せない

原因１ DVD-ROMドライブの上に物がのせられている

DVD-ROMドライブの上に物を置かないでください。

原因２ トレイに何かが引っ掛かっている

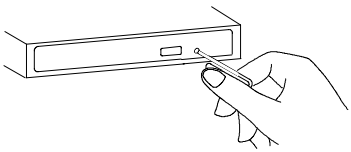
下記の方法を参照して、トレイを引き出してください。

注意

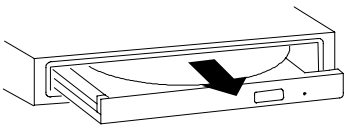
次の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。

<用意するもの>
太さ1.3㎜程度、長さ15㎜以上(指で持つ部分を除く)の針金 1本
※大きめのペーパークリップを伸ばしても使用することができます。

1. **Windowsを終了し、本製品及びパソコン本体の電源をOFFにします。**
2. **イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。**



3. **トレイが２㎝程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。**



ディスクを取り出した後、トレイを軽く押し戻してください。

この方法で引き出せない場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。(136ページ参照)

音が出ない

原因１ ディスクがトレイに確実に入っていない

ディスクがトレイに確実に入っていることを確認してください。

原因２ ディスクが変形や破損していたり、汚れている

変形や破損のないディスクをご使用ください。また、ディスクが汚れている場合は、汚れを取り除いてからご使用ください。

原因３ 音声データが入っていないディスクをトレイに入れている

音声データが入っているディスクを使用してください。

原因４ ケーブルが確実に接続されていない

本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。

本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

Windows 98/95でのトラブル

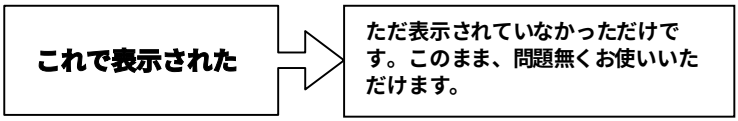
「マイコンピュータ」の中に「CD-ROM」アイコンがない

いくつかの原因が考えられますので、以下の手順で確認を行ってください。

1 **「マイコンピュータ」を開きます。**

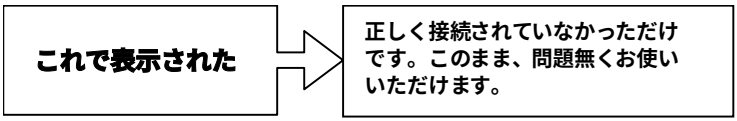
2 **［最新の情報を表示］します。**

［表示］タブ→［最新の情報を表示］の順にクリックします。



3 **DVD-ROMドライブとPCカードの接続を確認します。**
また、PCカードとパソコンの接続を確認します。

ケーブルがコネクタに正しく接続されているか、本製品の電源が入っているかを確認してください。また、PCカードがPCカードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。
確認後、一度PCカードをパソコンから取り外し（【基本操作について】(31ページ)）、再び挿入し直してみてください。



4 **「システムのプロパティ」を表示します。**

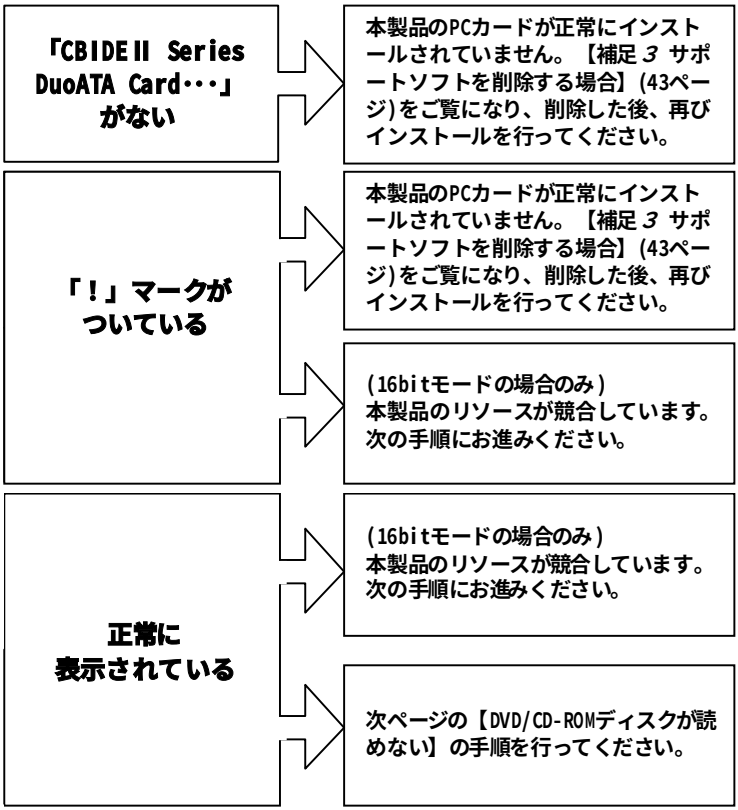
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

5 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

6 **［種類別に表示］を選択します。**

7 **［ハードディスクコントローラ］をダブルクリックします。**

8 **「CBIDE II Series DuoATA Card……」がその下にあるか確認します。**



以降は「16bitモード」でご使用の場合のみご覧ください。

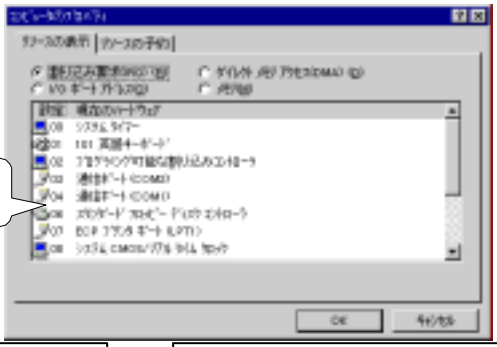
9 **［コンピュータのプロパティ］を表示します。**

［コンピュータ］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

10 **［割り込み要求(IRQ)］をクリックします。**

11 割り込み(IRQ)の空きを確認します。

表示された数字で0～15の中にない数字があればそこは空いています。



空きがない	使用していない何らかの機能を無効化して割り込みの空きを用意してください。 （無効化する方法についてはパソコン本体の取扱説明書もしくはパソコン本体メーカーにご確認ください）

12 パソコンを再起動します。

これで表示された	IRQが空いたので認識されました。 このまま、問題無くお使いいただけます。

DVD/CD-ROMディスクが読めない

原因 16bit高速アクセスモードが使用できない

1 サポートソフトを削除します。

【サポートソフトを削除する場合】(43ページ)を参照してください。

2 サポートソフトをインストールします。

【インストール】(23ページ)の１～６を行います。

その際、手順５で［16Bit PIO Mode］を選択します。

PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される

原因 IBM製 ThinkPadで本製品を使用している

以下の「方法１」を行います。

方法１

1 **本製品をパソコンに接続します。**

2 **［CardWizard］を起動します。**

デスクトップ上にある［CardWizard］アイコンをダブルクリックします。アイコンがない場合は、［スタート］→［プログラム］→［CardWorks］→［CardWizard］の順にクリックします。

両方ない場合は、「方法２」を行ってください。

3 **［表示］→［プロパティ］を選択します。**

4 **［ドライバ］タブ内の「カードドライバ」の設定を変更します。**

［ドライバ］タブをクリックし、「カードドライバの変更」にチェックします。

次に［プラグアンドプレイを使用］をチェックし、［ＯＫ］ボタンをクリックします。



5 **［OK］ボタンをクリックします。**

6 **本製品をパソコンから一度抜き、再び挿入します。**

方法2

1 **「SYSEDIT」を起動します。**

［スタート］→［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。「名前」に「SYSEDIT」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

2 **「CONFIG.SYS」を編集します。**

「CONFIG.SYS」ウィンドウをクリックし、全ての「\Card Works\」の入った行の一番前に「REM 」を追加します。終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

3 **パソコンを再起動します。**

4 **本製品をパソコンに接続します。**

5 **「PCカードのプロパティ」を確認します。**

方法は、【インストール後の確認】(27ページ)を参照。

6 **「SYSEDIT」を起動します。**

方法は、手順１を参照。

7 **手順 *2* で追加した「REM 」を全て削除します。**

終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない

原因 サスペンドの設定に問題がある

以下のようにしてください。

1 下側のPCカードスロットにPCカードを挿入します。

2 「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

「PowerPanel」の設定で、「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

※ 「PowerPanel」についてはパソコン取扱説明書をご覧ください。

3 「パワーマネジメント」の設定を変えます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［パワーマネジメント］をダブルクリックします。

［詳細］タブをクリックし、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックを外します。

PC98-NXシリーズで、［デバイスマネージャ］タブが表示されない

原因 アドバンスドモードにする必要がある

以下のようにしてください。

1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］、［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。

2 「アドバンスドモード」にします。

「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

3 Windowsを再起動します。

自動で再起動されます。

自動で再起動されない場合は、再起動してください。

OS起動中に止まってしまう

原因 本製品のPCカードと他のPCカードの組み合わせが悪い

【本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意】(11ページ)を参照してください。

Windows 98の終了画面で止まってしまう

原因 USBドライバとPCカードのリソースが競合している

方法1 USBドライバのリソース値を、以下の手順で変更してください。

1 **PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。**

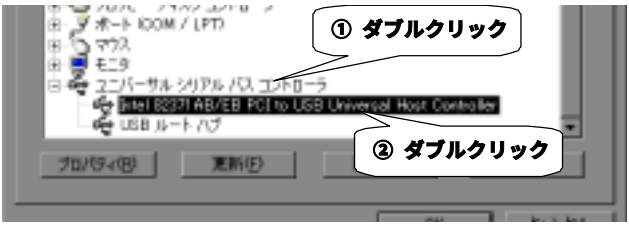
2 **「システムのプロパティ」を表示します。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4 **USBドライバのプロパティを開きます。**

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 ［I/0の範囲］を編集します。

①［リソース］タブをクリックします。
②［自動設定を使う］のチェックを外します。
③［I/0の範囲］を選択します。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。



6 ［I/0の範囲］の値を変更します。

「競合の情報」に「競合なし」と出るよう「値」を変更します。
［OK］ボタンをクリックします。

7 表示にしたがい、リソースを有効にします。

8 以上の設定後、再度現象を確認してください。同じ現象が出る場合は、再度別の［I/0の範囲］の値に変更してみてください。

方法２ 「方法１」で改善されない場合、以下の方法をお試しください。

1 ［システム情報］を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］を順にクリックします。

2 ［詳細設定］を表示します。

［ツール］→［システム設定ユーティリティ］→［詳細設定］を選択します。

3 「高速シャットダウンを使用不可にする」にチェックします。

方法３ USBドライバを、使用不可にします。

1 PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。

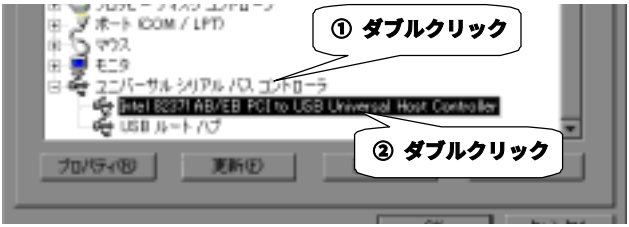
2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 USBドライバのプロパティを開きます。

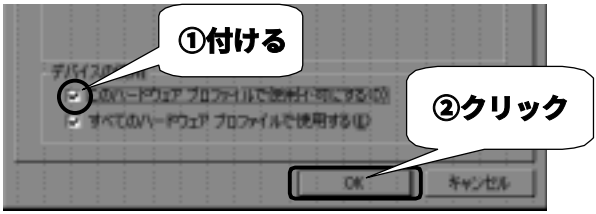
［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 USBドライバを無効化します。

［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］にチェックをつけます。

［OK］ボタンをクリックします。



トラブルがなおった

リソース(I/Oの範囲)の競合が問題です。
「方法１」を再度お試しください。

PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない

原因 **本製品のPCカードが認識されていない**

【補足１】(35ページ)を参照して、PCカードをパソコンから取り外したあと、もう一度挿入し直してください。

PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」画面等が表示されたまま、消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、以下を確認してください。

原因１ **「サポートソフト」がインストールされていない**

【Windows 98/95でご使用の場合】(17ページ)を参照してサポートソフトをインストールしてください。

原因２ **サポートソフトが正しくインストールされていない**

1 **サポートソフトを削除します。**

【補足３】(43ページ)を参照して、サポートソフトを削除します。

2 **[16Bit PIO Mode]をインストールします。**

【インストールしよう】(23ページ)の１～６を行います。その際、手順５で **[16Bit PIO Mode]** を選択します。

原因３ **32ビットカードドライバがインストールされていない**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［PCカード（PCMCIA）］アイコンをダブルクリックしてください。

［PCカード（PCMCIA）のプロパティ］画面以外が表示された場合は、指示にしたがって32ビットカードドライバをインストールしてください。

音楽CDを再生すると、『CD Player』のカウンタ表示は進むが、パソコン本体のスピーカーから音が聞こえない

オーディオケーブルの接続等を再度確認してください。
音楽CDから音楽を聞くには、以下の３通りがあります。

①Windows 98のデジタルオーディオ再生機能を使う
②本製品とパソコンをオーディオケーブルで接続し、パソコン内蔵のスピーカーで聞く
③本製品にアンプ付きスピーカーを接続して聞く

詳細は、【音楽CDを再生する場合】(39ページ)を参照してください。

添付ユーティリティ『CD Player』を起動した際に、「CD Audioデバイスはすでに使用されています」というエラーがでる

原因 **すでに他のCD Audioプレイヤが起動している場合があります。**

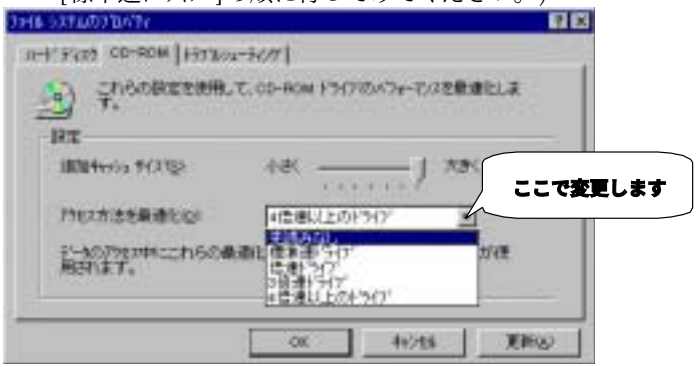
他のCD Audioプレイヤを終了し、弊社CD Playerをご使用ください。

AVIファイル等の再生でコマ落ちがおきる

原因１ Windows 98/95の先読みの設定が、本製品と合っていない

①[ｽﾀｰﾄ]→[設定]→[ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ]から[ｼｽﾃﾑ]アイコンをダブルクリックします。

②[ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]画面の[ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ]－[ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ]－[CD-ROM]で先読みの設定を変えることで現象を回避できる場合があります。(設定の変更は、[先読みなし]→[3倍速ﾄﾞﾗｲﾌﾞ]→[倍速ﾄﾞﾗｲﾌﾞ]→[標準速ﾄﾞﾗｲﾌﾞ]の順に行ってみてください。)



原因２ CDセレクトが起動している

CDセレクトは、一定間隔でCDが挿入されていることを監視しています。そのため、AVIファイルの再生に負担をかける場合があります。

【CDセレクトについて】(121ページ)を参照し、CDセレクトの監視時間を長くするか、CDセレクトを終了させてください。

添付ユーティリティ『CD Player』のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行うと、「トラックアドレスが取得できません」というエラーが出る

原因１ **キャプチャを行おうとしているCDディスクが汚れている**

CDディスクのクリーニングを行ってみてください。

原因２ **WINASPI.DLLファイルがインストールされていない**

WINASPI.DLLは通常Windows 98/95をインストールした際に標準で以下のフォルダに組み込まれます。

「Windows 98/95がインストールされているフォルダのSYSTEMフォルダ内」

無い場合はWindows 98/95を再度インストールしてください。

添付ユーティリティ『PCD View』で画像を表示できない

原因 **メモリ不足です**

スワップファイルを設定して、使用可能メモリ容量を増やしてください。

付録２　CD-ROMを活用する
ユーティリティ
(Windows 98/95のみ)

次ページからのインストール行うと、以下のユーティリティが使用できるようになります。

以下のユーティリティはWindows 98/95専用です。
Windows 2000およびWindows NT 4.0ではご使用いただけません。また、以下のユーティリティをインストールしなくても、本製品は使用できます。

◇CD Player

1.音楽CDの再生

お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生も可能です。

2.オーディオキャプチャ機能

音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。

3．CD TEXT対応

CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇PCD View

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

以上のユーティリティを使用する場合は、次ページ以降を参照し、インストールを行ってください。

ユーティリティのインストール

本製品添付のユーティリティ（CD Player,PCD View,CDセレクト）をインストールします。

1 **Windowsを起動します。**

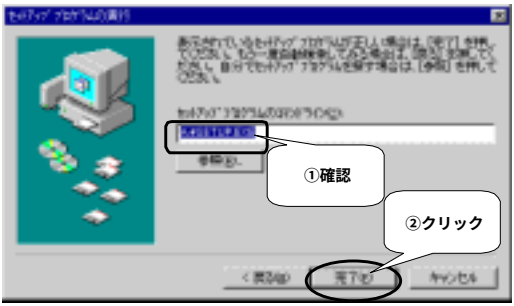
2 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。**

3 **「DVDP-iシリーズユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットします。**

4 **[セットアップと削除]タブの[セットアップ]ボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。**



5 **「セットアッププログラムのコマンドライン」で**
A:\SETUP.EXE
(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)
と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



6 **後は、画面の指示に従って操作を進めます。**
インストールが終了すると、ユーティリティが登録されます。



〈ユーティリティの削除方法〉
インストールしたユーティリティ(PCD View,CD Player,CDセレクト)を使用しなくなった場合に行ってください。
① Windowsを起動します。
② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。
③ [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
④ [インストールと削除]タブで本製品をクリックし、[追加と削除]をクリックします。
⑤ 画面の指示にしたがって、操作を進めてください。

音楽を聞いてみよう(CD Player)

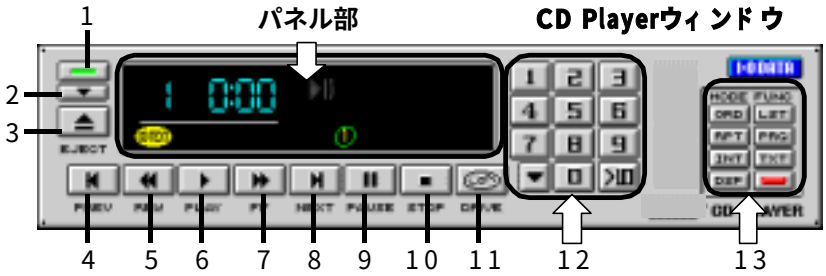
音楽CDの再生、停止等の操作をWindows上で行います。

各部の名称・機能

1 **Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CD Player]をクリックします。**

CD Playerを起動します。



パネル部詳細



番号	名称	機能
1	【終了】	CD Playerを終了します。
2	【アイコン化】	CD Playerをアイコン化します。
3	【イジェクト】	CDを取り出します。
4	【前トラック】	トラック（曲）を戻します。
5	【戻す】	10秒単位で再生ポイントを戻します。ボタンを押している間、操作を実行します。
6	【再生】	再生を開始します。
7	【進める】	10秒単位で再生ポイントを進めます。ボタンを押している間、操作を実行します。
8	【次トラック】	トラック（曲）を進めます。
9	【一時停止】	再生を一時停止したり一時停止を解除します。
10	【停止】	再生を停止します。
11	【CD-ROMドライブ切替】	CD-ROMドライブを切り替えます。
12	～,【トラック選択】	再生したいトラック番号を指定します。ボタンを押すと、トラック10以降を指定するモードになりますので、さらに２桁の数字を入力してください。ボタンを押すと、トラック番号のリストが表示されますので、直接トラック番号を指定できます。
13	【ランダム再生】	押すたびにランダム再生（パネルに「RANDOM」と表示）と通常再生を切り替えます。[PRG]ボタンでプログラム設定している場合は、「通常再生」→「プログラム再生」→「ランダム再生」を切り替えます。
	【リピート】	押すたびに1曲リピート(パネルに「REPEAT 1」と表示)、全曲リピート(パネルに「REPEAT ALL」と表示）、リピート無を切り替えます。

番号	名称	機能
13	INT【イントロ再生】	押すたびにイントロ再生（パネルに「INTRO」と表示）と通常再生を切り替えます。
	DSP【表示変更】	押すたびに「1曲の経過時間」→「1曲の残り時間」→「全曲の経過時間」→「全曲の残り時間」の順でパネルに表示します。
	LST【リスト作成】	曲名や歌手名を入力でき、独自の「タイトルリスト」を作成できます。また、曲順設定時に曲名が表示されるようになります。
	PRG【曲順設定】	再生したい曲を選んだり、曲順を設定（プログラム）できます。
	TXT【CD TEXT情報参照】	CD TEXT対応音楽CDのCD TEXT情報を参照する機能です。 （【CD TEXT情報表示機能】(118ページ)参照）
	【オーディオキャプチャ機能】	音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。 作成したWAVEファイルは、CD-R装置を使用してオーディオCDを作成する際のソースデータとしても使用できます。【オーディオキャプチャ機能】(114ページ)参照

・「CD Player」の各機能は、CD-ROMドライブに音楽CDがセットされている場合のみ有効です。実行前に音楽CDがセットされていることをご確認ください。
・音楽CDを再生する場合は、次の①～③の方法で設定・接続していることをご確認ください。（詳細は【補足２】(39ページ)をご覧ください。）
　①Windows 98でのデジタルオーディオ再生機能を使う（本製品側面のLINE OUT端子には何も接続しない。）
　②市販のオーディオケーブルで本製品側面のLINE OUT端子とパソコンのLINE IN端子を接続する。
　③本製品側面のLINE OUT端子にアンプ付きスピーカーを接続する。
・CD-ROMドライブが２台以上接続されている場合は、「CD Player」を使用するドライブを指定する必要があります。1台でのみ再生可能です。
　【方法】
　[コントロールパネル]-[マルチメディア]の[音楽CD]でドライブを指定してください。
・オンラインヘルプについて
　キーボードでの操作方法や詳しい操作のために、オンラインヘルプを用意しました。「CD Player」画面のボタン以外の箇所をダブルクリックするとタイトルバーが表示されるので、左上のマーク()をクリックしてメニューを表示し、「ヘルプ」を選んでください。

オーディオキャプチャ機能

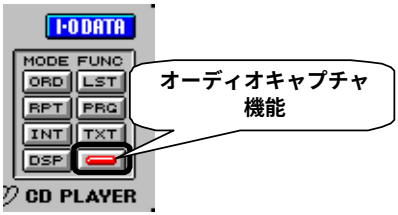
オーディオキャプチャ機能とは、音楽CD(CD-DA)上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。

- オーディオキャプチャを実行するにあたって、下記の注意事項をお守りください。
  オーディオキャプチャ機能は著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料を再生する手助けをするように設計されています。自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。
- オーディオキャプチャ機能は、本製品専用の機能です。他のドライブでは使用できません。他のドライブで使用すると動作に支障をきたす場合があります。
- WAVEファイルのフォーマットは以下の通りです。
  - サンプリングレート　44100Hz
  - サンプルサイズ　16Bit
  - チャネル数　2（ステレオ）

操作の流れ

1 **Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。**

2 **ボタンを押してオーディオキャプチャモードに入ります。**



3 保存場所を指定します。



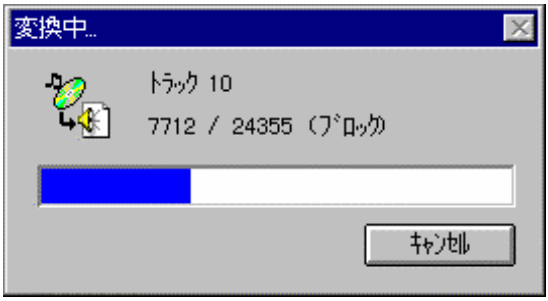
番号	名称	機能
①	ベースファイル名	WAVEファイル名を自動作成する際に、その元になる名前を指定します。 半角英数字5文字以内で指定します。 例)ベースファイル名を‘track’とした場合でトラック1、トラック2を保存する場合、各ファイル名は‘track001’‘track002’となります。 ただし、「② ﾄﾗｯｸﾀｲﾄﾙを使用」をチェックした場合は、トラックタイトルが優先されます。

番号	名称	機能
②	ﾄﾗｯｸﾀｲﾄﾙを使用	「保存するトラック」に表示されているタイトル名をWAVEファイル名にしたい場合にチェックします。 ファイル名は「トラック名.WAV」となります。 例：右図の「1.」をWAVEファイルにした場合は、「ﾄﾗｯｸ1.WAV」となります。 チェックした場合は、「ベースファイル名」は無視されます。 「保存するトラック」に表示されるタイトル名は以下のいずれかに設定できます。 1. 「CD TEXT情報のタイトル名」 2. LSTボタン(112ページ参照)で作成したタイトルリスト **・CD TEXT情報をタイトル名にできるのは、CD TEXT対応音楽CDのみです。** **・「CD TEXT情報」および「タイトルリスト」が無い場合は、ベースファイル名がファイル名となります。** 【上記1.2.の設定方法】 ① 110ページの［CD Player］ウィンドウ上で右クリックし、［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ］をクリックします。 ② 以下の画面が表示されます。  チェックボックスをON ➔ CD TEXT情報を優先（初期設定） チェックボックスのチェックをOFF ➔ タイトルリストを優先
③	保存するトラック	音楽CD上の変換したいトラックを、右図のようにクリックして指定します。トラックは複数まとめて指定できます。 

番号	名称	機能
④	ディレクトリ	WAVEファイルの保存先のディレクトリ(フォルダ)を指定します。
⑤	ドライブ	WAVEファイルの保存先のドライブを指定します。
⑥	ドライブの空き容量	現在選択されているドライブの空き容量を表示します。
⑦	必要な空き容量	現在選択されているトラックを保存するのに必要な空き容量の合計を表示します。

4 **[OK]ボタンを押します。**

オーディオトラックの変換を行います。変換中は、棒グラフで進行度を表示します。



・オーディオトラック読み出しの最大速度は、ドライブの仕様によりCD-ROMのデータトラックを読み出すときの最大速度よりも低い場合があります。

・オーディオトラックの読み込み時には、ディスク表面の傷・汚れなどに対して非常に敏感になります。傷・汚れなどがあると、変換後のデータ（WAVEファイル）にノイズが入ることがあります。そのため、オーディオトラックの変換には傷のないディスクを使用し、表面の汚れ・埃などは取り除いてから変換を行ってください。

CD TEXT情報表示機能

CD TEXT情報表示機能とは、CD TEXT対応の音楽CD※に記録されている曲名とアーティスト名をウィンドウに表示することができ、また以下の操作でより詳しい情報を表示することができる機能です。(この機能はCD TEXTディスク再生時のみ使用可能です)

※CD TEXT情報の入っているオーディオCDには右のようなマークがついています。



●操作方法

1 **開始**

TXTボタンを押すと、「CD TEXT情報の参照」ウィンドウが表示されます。

2 **操作**

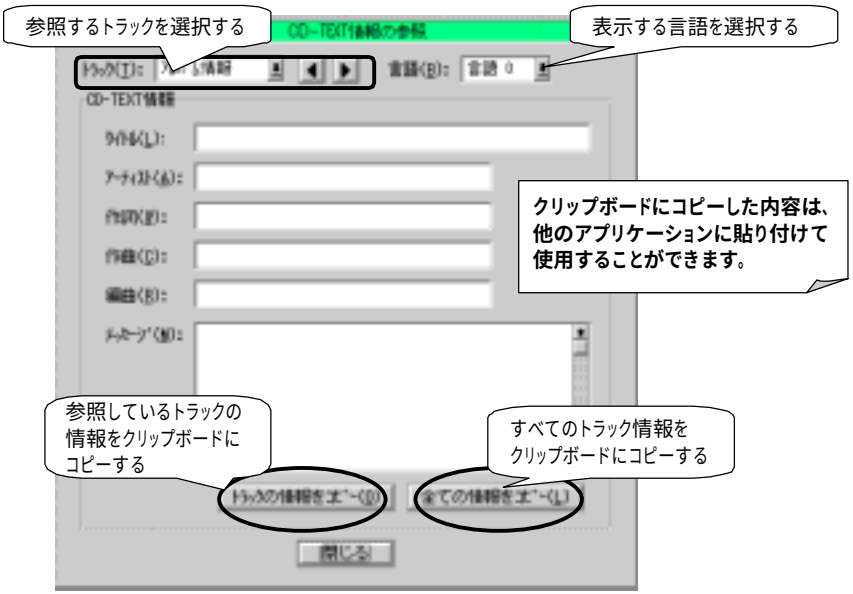


Photo CDを見てみよう(PCD View)

PCD Viewは、Photo CD規格によって記録された Photoを Windows上に表示します。

本製品には、Photo CDは添付されていません。別途ご購入のうえお楽しみください。

1 **Windowsを起動し、Photo CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[PCD View]をクリックします。**

3 **[ファイル]→[カタログシートを選ぶ]を選択し、Photo CDをセットしたドライブを選択します。**

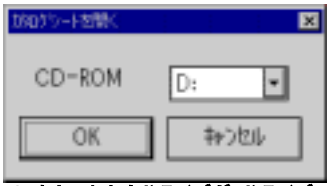
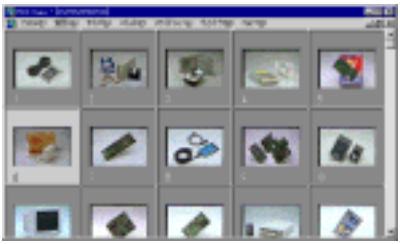


Photo CDをセットしたドライブがDドライブの場合

4 **CD-ROM中の Photoが一覧表示されます。**

「Photo」をマウスでクリックするとクリックした「Photo」が拡大表示されます。[ファイル]メニューの[開く]で1枚の写真のみ（各Photo のファイル）を選択して表示することもできます。
拡大表示された「Photo」をダブルクリックすると、元の一覧に戻ります。



メニューバーについて



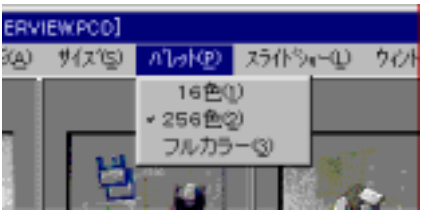
【変形(A)】

「Photo」の表示角度を変更します。左の中から選択できます。



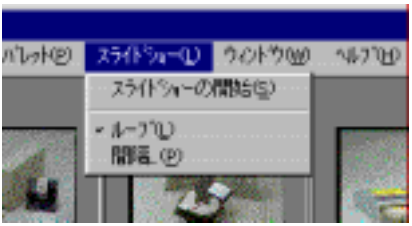
【サイズ(S)】

「Photo」表示のサイズ(ドット)を変更します。左の中から選択できます。



【パレット(P)】

「Photo」の色数を変更します。左の中から選択できます。(現在設定している解像度に設定してください)



【スライドショー(L)】

「Photo」を1点ずつ表示します。
[ﾙｰﾌﾟ]を選択すると最後の「Photo」を表示後、初めから繰り返します。
[間隔]を選択するとスライドショーでの「Photo」の表示時間を秒単位で設定できます。

CDセレクトについて

「CDセレクト」は、CD-ROMドライブに入っているCDを自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動するアプリケーションです。
例えば音楽CDを挿入すると、自動的に音楽CDに関連付けられているアプリケーション(初期設定 PLAYCDEX.EXE)を起動し、音楽を再生させます。

CD-R/CD-RWドライブへの書き込みを行う際には、必ず「CDセレクト」を終了させておいてください。終了しないとCD-R/CD-RWの作成に失敗する場合があります。
《終了方法》
ﾀｽｸﾊﾞｰ上の「CDセレクト」アイコンを右クリックし、「CDセレクトの終了」を選択してください。

CDセレクトを起動するには

[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CDセレクト]をクリックして起動します。

CDの確認および監視時間の設定

「CDセレクトのプロパティ」の「設定」タブで、以下の確認･設定を行うことができます。

CDの種類

CDの種類をドライブごとに表示します。ここを見ることによって、各CD-ROMドライブに今何のCDが入っているかを確認することができます。

監視時間

スライダーバーによって、監視時間の変更が可能です。



動作環境によっては、CDセレクトを起動している状態で動画(AVI/Video CD等)の再生を行うと、若干コマ落ちが発生する場合があります。そのような場合には、CDセレクトの「監視時間」を長くするか、CDセレクトを終了すると症状を軽減することができます。

起動アプリケーションを設定するには

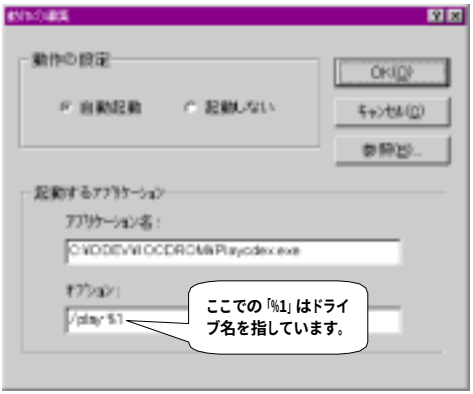
[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CDセレクト]をクリックし、[CDメディアタイプ]を選択します。

起動アプリケーション



各CD(音楽CD/PHOTO CD/VIDEO CD/DVD Video)が挿入されたときに起動するアプリケーションを指定できます。同時にアプリケーションが起動しない設定も可能です。

設定方法



「登録されているタイプ」からCDのタイプを選択し、[編集]ボタンを押すと右の画面が表示されます。
起動したいアプリケーション名を[参照]ボタン等で、フルパスで設定してください。また、オプションを付けて起動したい場合は、オプション項目に入力してください。

「CDセレクト」が、CDメディアごとに起動させるアプリケーションのデフォルト設定は次の通りです。

	アプリケーション名	オプション
(1) 音楽CD	C:\DDEV\IOCDROM\Playcdex.exe	/play %1
(2) PHOTO CD	C:\DDEV\IOCDROM\Pcdv.exe	%1
(3) VIDEO CD	設定なし	設定なし
(4) DVD Video	設定なし	設定なし

ドライブ監視状況の変更

VIDEO CD再生時にコマ落ちする場合、下記の方法で症状を軽減することができます。「CDセレクトのプロパティ」の「その他」タブで、再生に使用していないドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックしてください。次に[更新]または[OK]ボタンをクリックしてください。



- 「CDセレクト」は、自動挿入がONに設定されているCD-ROMドライブしか対象としません。(Windows98/95ではCD-ROMドライブに対して自動挿入という機能が初期設定されています。これは、音楽CDやデータCDがCD-ROMドライブに挿入された場合、音楽CDならCDプレーヤーが起動して自動的に1曲目から再生され、データCDならAUTORUNが起動するという仕組みのことです。)
- DVDビデオやビデオCDを再生する場合は、添付のPowerDVD 2000をご使用ください。（詳しくは、別冊のPowerDVD 2000クイックガイド参照）

付録３　ACアダプタなしで本製品を使いたい場合

本製品を付属のACアダプタを接続せずに使用することもできます。
（パソコン本体から電源供給を受けます。）

ただし、ACアダプタを接続しない場合、以下の条件があります。
以下の表でご確認ください。
※ 一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。

	ACアダプタを接続する場合	ACアダプタを接続しない場合
本製品の転送モード	高速モード ・8倍速DVD-ROMリード (最大10.8MB/秒) ・24倍速CD-ROMリード (最大3.6MB/秒)	低速モード ・2.5倍速DVD-ROMリード (最大3.4MB/秒) ・12倍速CD-ROMリード (最大1.8MB/秒)
PCカードのモード	「CardBusモード」または「16bitモード」を設定※	「16bitモード」のみ
パワーランプ色	緑	オレンジ

※Windows 98/95で使用している場合の使用できるモードについては
【使用できるモードを確認する】(20ページ)参照。
Windows NT 4.0は「16bitモード」のみです。

Windows 98/95での設定手順 → **126ページ**

Windows 2000での設定手順 → **127ページ**

Windows NT 4.0での設定手順 → **128ページ**

Windows 98/95での設定手順

ここでは、Windows 98/95でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【Windows 98/95でご使用の場合】(17ページ)を参照してください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②「サポートソフト」を一旦アンインストールします。(43ページ)
③PCカードを「16bitモード」に設定します。
④後は【Windows 98/95でご使用の場合】(17ページ)を参照してください。

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
③本製品のPowerスイッチをONにします。
④再度PCカードを挿入すれば使用できます。

Windows 2000での設定手順

ここでは、Windows 2000でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【Windows 2000でご使用の場合】(45ページ)を参照してください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②PCカードを「16bitモード」に設定します。
③後は【Windows 2000でご使用の場合】(45ページ)を参照してください。

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

Windows NT 4.0での設定手順

ここでは、Windows NT 4.0でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【Windows NT 4.0でご使用の場合】(71ページ)を参照してください。

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

付録４　ハードウェア仕様

●DVDP-i8TP(DVD/CD-ROMドライブ)

型式番号	DVDP-i8TP
データ転送速度	**・ACアダプタを接続した場合** 8倍速DVD-ROMリード:最大 10.8MB/秒 24倍速CD-ROMリード:最大 3.6MB/秒 **・ACアダプタを外した場合** 2.5倍速DVD-ROMリード:最大 3.4MB/秒 12倍速CD-ROMリード:最大 1.8MB/秒
アクセスタイム	DVD-ROM：平均 95ms CD-ROM：平均 85ms
バッファメモリ	512Kbytes
ラインアウト(LINE OUT) 端子	3.5mmステレオミニジャック
ラインアウト(LINE OUT) 出力レベル	0.8Vrms(47kΩ負荷)
インターフェイス	i･CONNECT ※
対応フォーマット	DVD-ROM DVDビデオ CD-DA CD-ROM (Mode1,Mode2) CD-ROM XA CD-R/RW 音楽CD CD-I CD Extra CD TEXT ビデオCD Photo CD
使用温度範囲(℃)	+5℃～+35℃（結露なきこと）
使用湿度範囲(%)	20%～80%（結露なきこと）
電源	DC 5.0V 1.7A
外形寸法 (突起部を除く)	140(W)×150(D)×20(H)mm
質量	約390g

※ 131ページをご覧ください。

●CBIDEIIA

注意

CBIDEIIAは、本製品専用です。
他の製品に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

モード	CardBusモード	16bitモード
カード仕様	PCカード規格準拠	
選択可能I/Oアドレス	任意の連続した32バイト	180h～187h,386h～387h 190h～197h,396h～397h 1A0h～1A7h,3A6h～3A7h
占有メモリ	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間※
選択可能IRQ	任意の割り込み(ただしWindows98/95のときのみ使用)	
入力電源	+3.3V±5%	+5V±5%
消費電流	MAX 40mA	MAX 10mA
外形寸法	85.6 X 54.0 X 5 mm（TYPEII規格準拠）	
質量	30g	

※ 32ビットメモリマップ転送を使用する場合は、128Kバイトのメモリ空間をオープンしなければいけません。

i･CONNECT について

本製品のDVD-ROMドライブ ※ は「i･CONNECT ™ 」に対応しています。
「i･CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ･オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、「i･CONNECT」搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」や「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」ドライブ、Duo ATA PCカードでそのまま「IDE/ATAPI」ドライブとしても使用できます。



※ 本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は本製品のDVD-ROMドライブ専用です。
他のドライブでは使用できません。

PowerDVD 2000のお問い合わせ

PowerDVD 2000には、[iPower!の製品情報ページ]、［readme］、[ヘルプファイル]などが用意されております。よくあるＱ＆Ａなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。また、お客様のご質問に、より迅速に対応する為にインターネットホームページ上にユーザーサポートページを設けております。ご不明な点につきましては、下記ユーザーサポートページをご覧ください。また、サポートページ掲載事例以外の現象などが発生した場合、e-mailを利用してのサポートを行なっておりますので、下記ユーザーサポートまでお問い合わせいただけます様お願いいたします。

ユーザーサポートページURL　http://www.cli.co.jp/support/
ユーザーサポート　support@cli.co.jp

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入もしくはご確認いただきCyberLink社までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

FAX：03-3662-8009
TEL：03-3662-8076

▼必要事項

1.記入日
2.氏名（ユーザー登録名）
3.TEL番号
4.FAX番号
5.住所
6.E-mailアドレス
7.製品名およびソフトウェアのバージョン
8.CD-Key番号（CDケースに付いていた、英文字2文字+14桁からなる番号をご記入下さい）
9.お使いのパソコン環境
・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
・パソコン（CPU（例：PentiumⅢ500）およびメモリ容量）
・使用している周辺機器（メーカー名、製品名）
・DVDドライブ（アイ･オー･データ機器製、DVDP-i8TP）

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。
以下に記入して、お問い合わせのときにお知らせください。
連絡方法については次ページをご覧ください。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (サポートソフトに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

《連絡方法》

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ **http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。

@nifty **ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDP-i8TP」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30〜19:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDP-i8TP」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
@nifty	ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5(LIB 5)

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDP-i8TP」 サービス窓口 宛

電話番号 076-260-3663

受付時間 9:30〜12:00 13:00〜17:00 月〜金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- ●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- ●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- ●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

保証について

◎保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。

また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。
・本製品のリージョンコード（地域コード）を変更した場合。
（リージョンコード２、ALL以外のDVDビデオを使用する場合。）

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 **〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDP-i8TP」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

電話番号 **「DVDP-i8TP」サービス窓口**
電話番号 **金沢 076-260-3663**
受付時間 **9:30〜12:00 13:00〜17:00**
月〜金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

DVDP-i8TP 取扱説明書
2000.Jul.26 75703-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール